

愛媛県がん診療連携推進病院 現況報告書(令和6年度版)

令和6年4月1日時点について記載

1. 区分 (1) 新規指定 (2) 指定更新[指定年月日: 令和 年 月 日] (3) 現況報告 ※該当する項目を口で囲む

2. 病院概要

Table with 3 columns: Item, Value, Unit. Rows include: (1) 病院名, (2) 所在地等 (郵便番号, 住所, 電話番号, FAX番号, e-mail, HPアドレス, 所属2次医療圏), (3) 開設 (開設者, 開設年月日), (4) アクセス情報 (鉄道, バス, 高速道路, 駐車場), (5) 面積 (土地, 建物), (6) 診療時間 (外来診療受付時間, 外来診療時間, 休診日, 初診時の予約の要否), (7) 診療科 (開設診療科名, 開設診療科一覧, 開設診療科数, 診療科名), (8) 病床数等 (病床数, 診療機器の保有状況), (9) 診療報酬に係る施設基準等 (施設基準を取得した病床数).

②届出された先進医療の状況等				
先進医療への対応状況(がんに関するもの)			別紙2	
③診療報酬に係る施設基準等(件数は令和5年4月1日～令和6年3月31日の集計)				
DPC対象病院			はい	(はい/いいえ)
診療録管理体制加算(A207)	あり	(あり/なし)	2,357	件
医師事務作業補助体制加算(A207-2)	あり	(あり/なし)	2,265	件
緩和ケア診療加算(A226-2)	なし	(あり/なし)		件
がん診療連携拠点病院加算(A232)	なし	(あり/なし)		件
栄養サポートチーム加算(A233-2)	あり	(あり/なし)	10	件
医療安全対策加算1(A234-1)	あり	(あり/なし)	2,461	件
医療安全対策地域連携加算1	あり	(あり/なし)	2,461	件
医療安全対策加算2(A234-1)	なし	(あり/なし)		件
医療安全対策地域連携加算2	なし	(あり/なし)		件
患者サポート体制充実加算(A234-3)	あり	(あり/なし)	2,461	件
特定集中治療室管理料(A301)	なし	(あり/なし)		件
ハイケアユニット入院医療管理料(A301-2)	あり	(あり/なし)	1,065	件
緩和ケア病棟入院料1(A310)(※今期に限り、代替として緩和ケア病棟)	なし	(あり/なし)		件
緩和ケア病棟入院料2(A310)	なし	(あり/なし)	0	件
がん性疼痛緩和指導管理料1(B001 22)	あり	(あり/なし)	24	件
がん性疼痛緩和指導管理料2(B001 22)	あり	(あり/なし)		件
がん患者指導管理料 1 (B001 23)	あり	(あり/なし)	10	件
がん患者指導管理料 2 (B001 23)	あり	(あり/なし)	6	件
がん患者指導管理料 3 (B001 23)	あり	(あり/なし)	14	件
外来緩和ケア管理料(B001 24)	なし	(あり/なし)		件
外来放射線照射診療料(B001-2-8)	なし	(あり/なし)		件
ニコチン依存症管理料(B001-3-2)	あり	(あり/なし)	1	件
リンパ浮腫指導管理料(B001-7)	あり	(あり/なし)		件
療養・就労両立支援指導料(B001-9)	なし	(あり/なし)	0	件
退院時共同指導料2(B005)	あり	(あり/なし)	16	件
退院時共同指導料2の医師同士の共同指導による加算	なし	(あり/なし)		件
退院時共同指導料2の3者以上の共同指導による加算	あり	(あり/なし)	1	件
がん治療連携計画策定料1(B005-6)	あり	(あり/なし)		件
がん治療連携計画策定料2(B005-6)	あり	(あり/なし)		件
がん治療連携管理料(B005-6-3)	なし	(あり/なし)		件
薬剤管理指導料(B008)	あり	(あり/なし)	5,907	件
病棟薬剤業務実施加算	あり	(あり/なし)	7,357	件
麻薬管理指導加算(B008)	あり	(あり/なし)		件
医療機器安全管理料2(B011-4)	あり	(あり/なし)	62	件
遺伝カウンセリング加算(D026)	なし	(あり/なし)		件
画像診断管理加算1(第4部 通則)	なし	(あり/なし)		件
画像診断管理加算2(第4部 通則)	あり	(あり/なし)	6,274	件
遠隔画像診断による画像診断の施設基準(第4部 通則)	なし	(あり/なし)		件
ポジトロン断層撮影(E101-2)	なし	(あり/なし)		件
コンピューター断層複合撮影の施設基準(E101-3)	なし	(あり/なし)		件
外来化学療法加算1(第6部 通則)	あり	(あり/なし)	39	件
外来化学療法加算1(A)15歳未満	なし	(あり/なし)		件
外来化学療法加算1(B)15歳未満	なし	(あり/なし)		件
外来化学療法加算2(第6部 通則)	なし	(あり/なし)		件
外来化学療法加算2(A)15歳未満	なし	(あり/なし)		件
外来化学療法加算2(B)15歳未満	なし	(あり/なし)		件
無菌製剤処理料1(G020)	あり	(あり/なし)	148	件
がん患者リハビリテーション料(H007-2)	あり	(あり/なし)	284	単位
輸血管理料I(K920-2)	なし	(あり/なし)		件
輸血管理料II(K920-2)	あり	(あり/なし)	110	件
放射線治療管理料(M000)	なし	(あり/なし)		件
放射線治療専任加算(M000)	なし	(あり/なし)		件
外来放射線治療加算(M000)	なし	(あり/なし)		件
放射性同位元素内用療法管理料1～5のいずれか(M000-1)	なし	(あり/なし)		件
高エネルギー放射線治療の施設基準(M001)	なし	(あり/なし)		件
強度変調放射線治療(IMRT)の施設基準(M001)	なし	(あり/なし)		件
画像誘導放射線治療加算の施設基準(M001)	なし	(あり/なし)		件
体外照射呼吸性移動対策加算の施設基準(M001)	なし	(あり/なし)		件
定位放射線治療の施設基準(M001-3)	なし	(あり/なし)		件
在宅療養支援病棟の施設基準	なし	(あり/なし)		件
歯科医療機関連携加算(B009)	なし	(あり/なし)		件
周術期口腔機能管理後手術加算(K000)	あり	(あり/なし)	14	件
(10)職員数	総職員数 (事務職員含む)		319	人
<p>・常勤医師数:「常勤」とは、当該医療機関で定めている1週間の就業時間すべて勤務している者をいい、正規・非正規は問わないものとする。ただし、当該医療機関で定めている就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とはみなさない(「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知)の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照)。</p>				

①職種別内訳				
※複数の資格を有する者は、主たる業務に係る職種についてのみ記載。				
	非常勤		常勤	
	※(常勤換算)			
医師	1.6	人	27	人
歯科医師	0	人	3	人
薬剤師	0	人	10	人
保健師	0	人	2	人
助産師	0	人	3	人
看護師	7.8	人	142	人
准看護師	0.9	人	0	人
理学療法士	0	人	9	人
作業療法士	0	人	6	人
視能訓練士	0	人	0	人
言語聴覚士	0	人	1	人
義肢装具士	0	人	0	人
歯科衛生士	2.8	人	1	人
歯科技工士	0	人	0	人
診療放射線技師	0.9	人	10	人
臨床検査技師	1.8	人	10	人
衛生検査技師	0	人	0	人
臨床工学技士	0.9	人	3	人
管理栄養士	1.1	人	2	人
栄養士	0	人	0	人
社会福祉士	0	人	1	人
精神保健福祉士	0	人	0	人
介護福祉士	0	人	0	人
※②～④については、複数の資格を持つものは、両方にカウントする。				
	非常勤		常勤	
	※(常勤換算)			
②医師等の専門性に関する資格名に該当する人数等について				
公益社団法人 日本整形外科学会 整形外科専門医	0	人	5	人
公益社団法人 日本皮膚科学会 皮膚科専門医	0	人	1	人
公益社団法人 日本麻酔科学会 麻酔科専門医	0	人	1	人
公益社団法人 日本医学放射線学会 放射線診断専門医	0	人	0	人
公益社団法人 日本医学放射線学会 放射線治療専門医	0	人	1	人
公益財団法人 日本眼科学会 眼科専門医	0	人	0	人
公益社団法人 日本産科婦人科学会 産婦人科専門医	0	人	1	人
一般社団法人 日本耳鼻咽喉科学会 耳鼻咽喉科専門医	0	人	0	人
一般社団法人 日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医	0	人	1	人
一般社団法人 日本形成外科学会 形成外科専門医	0	人	2	人
一般社団法人 日本病理学会 病理専門医	0	人	1	人
一般社団法人 日本内科学会 総合内科専門医	0.8	人	3	人
一般社団法人 日本外科学会 外科専門医	0	人	2	人
一般社団法人 日本糖尿病学会 糖尿病専門医	0	人	1	人
一般社団法人 日本肝臓学会 肝臓専門医	0.8	人	0	人
一般社団法人 日本感染症学会 感染症専門医	0	人	0	人
一般社団法人 日本救急医学会 救急科専門医	0	人	0	人
一般社団法人 日本血液学会 血液専門医	0	人	0	人
一般社団法人 日本呼吸器学会 呼吸器専門医	0	人	1	人
一般社団法人 日本循環器学会 循環器専門医	0	人	3	人
一般社団法人 日本消化器病学会 消化器病専門医	0.8	人	0	人
一般社団法人 日本腎臓学会 腎臓専門医	0	人	0	人
公益社団法人 日本小児科学会 小児科専門医	0	人	1	人
一般社団法人 日本内分泌学会 内分泌代謝科専門医	0	人	0	人
一般社団法人 日本消化器外科学会 消化器外科専門医	0.8	人	0	人
一般社団法人 日本超音波医学会 超音波専門医	0	人	0	人
公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞診専門医	0	人	1	人
一般社団法人 日本透析医学会 透析専門医	0	人	0	人
一般社団法人 日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医	0	人	1	人
公益社団法人 日本リハビリテーション医学会 リハビリテーション科専門医	0	人	0	人
一般社団法人 日本老年医学会 老年病専門医	0	人	0	人
心臓血管外科専門医認定機構 心臓血管外科専門医	0	人	0	人
呼吸器外科専門医合同委員会 呼吸器外科専門医	0	人	0	人
一般社団法人 日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡専門医	0.8	人	0	人
特定非営利活動法人 日本小児外科学会 小児外科専門医	0	人	0	人
一般社団法人 日本神経学会 神経内科専門医	0	人	0	人
一般社団法人 日本リウマチ学会 リウマチ専門医	0	人	0	人
一般社団法人 日本乳癌学会 乳腺専門医	0	人	0	人
一般社団法人 日本人類遺伝学会 臨床遺伝専門医	0	人	0	人
一般社団法人 日本東洋医学会 漢方専門医	0	人	0	人
特定非営利活動法人 日本レーザー医学会 レーザー専門医	0	人	1	人
特定非営利活動法人 日本呼吸器内視鏡学会 気管支鏡専門医	0	人	1	人
一般社団法人 日本アレルギー学会 アレルギー専門医	0	人	0	人
一般社団法人 日本核医学会 核医学専門医	0	人	0	人
特定非営利活動法人 日本気管食道科学会 気管食道科専門医	0	人	0	人
一般社団法人 日本大腸肛門病学会 大腸肛門病専門医	0	人	0	人
公益社団法人 日本婦人科腫瘍学会 婦人科腫瘍専門医	0	人	0	人
一般社団法人 日本ペインクリニック学会 ペインクリニック専門医	0	人	0	人
一般社団法人 日本熱傷学会 熱傷専門医	0	人	0	人
特定非営利活動法人 日本脳神経血管内治療学会 脳血管内治療専門医	0	人	0	人
特定非営利活動法人 日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医	0	人	0	人

一般社団法人 日本周産期・新生児医学会 周産期(新生児)専門医	0	人	0	人
一般社団法人 日本生殖医学会 生殖医療専門医	0	人	0	人
一般社団法人 日本小児神経学会 小児神経専門医	0	人	0	人
特定非営利活動法人 日本心療内科学会 心療内科専門医	0	人	0	人
一般社団法人 日本総合病院精神医学会 一般病院連携精神医学専門医	0	人	0	人
特定非営利活動法人 日本緩和医療学会 緩和医療専門医	0	人	0	人
一般社団法人 がん治療認定医機構 がん治療認定医	0	人	1	人
一般社団法人 がん治療認定医機構 暫定教育医	0	人	0	人
公益社団法人 日本精神神経学会 精神科専門医	0	人	0	人
一般社団法人 日本泌尿器科学会/日本泌尿器内視鏡学会 泌尿器腹腔鏡技術認定医	0	人	0	人
一般社団法人 日本内視鏡外科学会 産科婦人科領域 技術認定所得者	0	人	0	人
一般社団法人 日本内視鏡外科学会 呼吸器外科領域 技術認定所有者	0	人	0	人
一般社団法人 日本内視鏡外科学会 消化器・一般外科領域 技術認定所得者	0	人	0	人
一般社団法人 日本内視鏡外科学会 泌尿器科領域 技術認定所得者	0	人	0	人
一般社団法人 日本IVR学会 IVR専門医	0	人	0	人
一般社団法人 日本核医学会 PET核医学認定医	0	人	0	人
特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構 (旧 特定非営利活動法人 マンモグラフィ検診精度管理中央委員会) 検診マンモグラフィ読影認定医師A評価	0	人	0	人
特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構 (旧 特定非営利活動法人 マンモグラフィ検診精度管理中央委員会) 検診マンモグラフィ読影認定医師B評価	0	人	1	人
その他学会・専門医等(記載は10個まで 暫定指導医、暫定教育医等は記載しないこと)				
日本脳卒中学会 専門医	0	人	1	人
日本心血管インターベンション治療学会 専門医	0	人	1	人
日本手外科学会 専門医	0	人	1	人
社会医学系専門医協会 指導医、専門医	0	人	4	人
日本創傷外科学会専門医	0	人	1	人
日本脈管学会認定脈管専門医	0	人	1	人
日本結核病学会結核・抗酸菌症指導医	0	人	1	人
		人		人
		人		人
		人		人
歯科医師				
公益社団法人 日本口腔外科学会 口腔外科専門医	0	人	1	人
一般社団法人 日本病理学会 口腔病理専門医	0	人	0	人
看護師				
公益社団法人 日本看護協会 がん看護専門看護師	0	人	0	人
公益社団法人 日本看護協会 がん化学療法看護認定看護師	0	人	1	人
公益社団法人 日本看護協会 がん性疼痛看護認定看護師	0	人	0	人
公益社団法人 日本看護協会 乳がん看護認定看護師	0	人	0	人
公益社団法人 日本看護協会 緩和ケア認定看護師	0	人	1	人
公益社団法人 日本看護協会 皮膚・排泄ケア認定看護師	0	人	0	人
公益社団法人 日本看護協会 摂食・嚥下障害看護認定看護師	0	人	0	人
公益社団法人 日本看護協会 手術看護認定看護師	0	人	0	人
公益社団法人 日本看護協会 がん放射線療法看護認定看護師	0	人	0	人
日本インターベンショナルラジオロジー学会・日本心血管インターベンション治療学会合同認定インターベンションエキスパートナース (旧 日本IVR学会認定IVR看護師)	0	人	0	人
③その他専門的技術・知識を有する医療従事者 ※(常勤換算) 常勤				
一般社団法人 日本医療薬学会 がん専門薬剤師	0	人	0	人
一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師	0	人	0	人
一般社団法人 日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師	0	人	0	人
一般社団法人 日本緩和医療学会 緩和薬物療法認定薬剤師	0	人	1	人
公益社団法人 日本薬剤師研修センター 研修認定薬剤師	0	人	1	人
公益社団法人 日本臨床細胞学会 細胞検査士	0	人	1	人
特定非営利活動法人 日本乳がん検診精度管理中央機構 (旧 特定非営利活動法人 マンモグラフィ検診精度管理中央委員会) 検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師	0	人	2	人
一般財団法人 医学物理士認定機構 医学物理士 (旧 公益社団法人 日本医学放射線学会 医学物理士)	0	人	0	人
放射線治療品質管理機構 放射線治療品質管理士	0	人	0	人
日本放射線治療専門放射線技師認定機構 放射線治療専門放射線技師	0	人	0	人
四病院団体協議会/医療研推進財団 診療情報管理士	0	人	1	人
その他				
		人		人
		人		人
		人		人
④その他の従事者				
医療ソーシャルワーカー(社会福祉士、精神保健福祉士以外)	0	人	0	人
診療録管理部門の職員	0.9	人	1	人
医療心理に携わる者	0	人	0	人
公益社団法人 日本臨床心理士資格認定協会 臨床心理士	0	人	0	人
臨床試験コーディネーター	0	人	0	人
データマネージャー (医学研究、特に臨床研究において、研究データの収集や入力、データの品質管理を担うデータマネージャーの専門家。医学知識、生物統計学の基礎知識、データベース等の情報工学の基礎知識を要する。)	0	人	0	人

生物統計家 (統計学を専門とする統計家のうち、医学・薬学・農学・心理学などの生命科学に特化した知識・経験を有する統計家。生命科学研究の研究デザインやデータの統計解析を担当する。)	0	人	0	人
医師事務作業補助者	8.0	人	0	人
看護業務補助者	2.8	人	0	人
(11)その他 (令和6年4月1日現在)				
①承認等の状況				
地域医療支援病院			承認なし	(承認あり、承認なし)
開放型病院			承認あり	(承認あり、承認なし)
②夜間(深夜も含む)救急対応の可否				
			可	(可、否)
③各種委員会の設置状況				
倫理審査委員会	あり	(あり、なし)	年	1
治験審査委員会	あり	(あり、なし)	年	0
④診療情報管理の状況				
・病院情報システムの稼働状況				
検査オーダー			あり	(あり、なし)
処方オーダー			あり	(あり、なし)
診療予約オーダー			あり	(あり、なし)
電子カルテ			あり	(あり、なし)
・ICDコードの利用状況				
ICD-10を入院病名管理に利用している			はい	(はい、いいえ)
ICD-10を外來病名管理に利用している			はい	(はい、いいえ)
⑤遠隔医療システム等の導入状況				
遠隔画像診断			あり	(あり、なし)
遠隔病理診断			なし	(あり、なし)
在宅療養支援			なし	(あり、なし)
外來診察室におけるインターネット環境			なし	(あり、なし)
病棟におけるインターネット環境			なし	(あり、なし)
(12)患者数・診療件数の状況				
①患者数等				
年間新入院患者数(令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※1	2,636	人		
年間新入院がん患者数(令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※2	188	人		
年間新入院患者数に占めるがん患者の割合	7.1%			
年間外來がん患者のべ数(令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※3	57	人		
年間院内死亡がん患者数(令和5年1月1日～令和5年12月31日)	24	人		
新入院患者数(原則、令和5年11月1日～令和6年2月29日までの新入院患者。) ※1	853	人		
新入院がん患者数 ※2	57	人		
(新入院患者数に占めるがん患者の割合)	6.7%			
うち肺がん患者数(ICD-10コード C34\$, D02.2) ※	2	人		
うち胃がん患者数(ICD-10コード C16\$, D00.2)	10	人		
うち大腸がん(直腸がんを含む)患者数(ICD-10コード C18\$, C19, C20, D01.0, D01.1, D01.2)	11	人		
うち肝臓がん患者数(ICD-10コード C22\$, D01.5)	0	人		
うち乳がん患者数(ICD-10コード C50\$, D05\$)	0	人		
* ※1 新入院患者数は、例えば、同一患者が当月中に2回入院した場合は2件とする。入院した患者がその日のうちに退院あるいは死亡した場合も計上する。 ※2 がん患者数等は、がんを主たる病名に確定診断されたものについて計上すること。 ※3 年間外來がん患者延数は、当年の新來、再來がん患者及び往診、巡回診療、健康診断、人間ドック等を行い、診療録の作成又は記載の追加を行ったがん患者の延数を記入する。同一患者が2つ以上の診療科を受診し、それぞれの診療科で診療録の作成又は記載の追加を行った場合、それぞれの外來患者として計上する。 4 「\$」は当該項目の下位分類を全て含むという意味である。				
②麻酔及び手術等の状況(令和5年11月1日～令和6年2月29日)				
全身麻酔の件数の総数	223	件		
ア 悪性腫瘍の手術件数の総数		件		
イ 肺がん(C34\$, D02.2)の手術件数		件		
開胸手術 K511\$, K514\$, K518\$		件		
胸腔鏡下手術 K514-2\$		件		
ウ 胃がん(C16\$, D00.2)の手術件数		件		
開腹手術 K654-2, K6552, K655-42, K6572		件		
腹腔鏡下手術 K654-3, K655-22, K657-22		件		
内視鏡手術 粘膜切除術(EMR) K6531		件		
内視鏡手術 粘膜下層剝離術(ESD) K6532		件		
エ 大腸がん(C18\$, C19, C20, D01.0, D01.1, D01.2)の手術件数		件		
開腹手術 K7193, K739\$, K740\$		件		
腹腔鏡下手術 K719-3, K740-2\$		件		
内視鏡手術 K721\$, K721-2\$, K721-4, K739-2, K739-3	9	件		
オ 肝臓がん(C22\$, D01.5)の手術件数		件		
開腹手術 K695\$		件		
腹腔鏡下手術 K695-2		件		
マイクロ波凝固法 K697-2		件		
ラジオ波焼灼療法 K697-3		件		
カ 乳がん(C50\$, D05\$)の手術件数		件		
手術 K476\$		件		
乳癌冷凍凝固摘出術 K475-2		件		
乳腺腫瘍摘出術(生検) K474\$		件		
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術 K474-3		件		
乳房再建術(乳房切除後) 二期的に行うもの K476-32		件		
キ 転移性肺がん(C780)の手術件数		件		
開胸手術 K511\$, K514\$, K518		件		
胸腔鏡下手術 K514-2\$, K513		件		

ク	転移性肝がん (C787)の手術件数		
	開腹手術 K695\$		件
	腹腔鏡下手術 K695-2		件
③	放射線治療		
	※以下、放射線治療件数に関する項目は、必ず放射線治療責任医師の確認を取って記入すること。		
	ア-1 のべ患者数 (令和5年1月1日～令和5年12月31日の間に放射線治療を開始した患者数)		
	例: 令和5年3月に新患として放射線治療を受け、同年10月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。		
	体外照射		人
	そのうち特殊なもの		
	定位照射(脳)		人
	定位照射(体幹部)		人
	強度変調放射線治療 (IMRT)		人
	小線源治療		人
	ア-2 のべ患者数 (令和5年11月1日～令和6年2月29日の間に放射線治療を開始した患者数)		
	例: 令和5年11月に新患として放射線治療を受け、令和6年2月に転移で再度放射線治療を受けた場合は2名と数える。		
	<入院>		
	肺がん		人
	胃がん		人
	肝がん		人
	大腸がん		人
	乳がん		人
	<外来>		
	肺がん		人
	胃がん		人
	肝がん		人
	大腸がん		人
	乳がん		人
	イ-1 照射回数 (令和5年11月1日～令和6年2月29日のべ照射回数)		
	体外照射		回
	そのうち特殊なもの		
	定位照射(脳)		回
	定位照射(体幹部)		回
	強度変調放射線治療 (IMRT)		回
	小線源治療		回
	イ-2 のべ照射回数 (令和5年11月1日～令和6年2月29日)		
	<入院>		
	肺がん		回
	胃がん		回
	肝がん		回
	大腸がん		回
	乳がん		回
	<外来>		
	肺がん		回
	胃がん		回
	肝がん		回
	大腸がん		回
	乳がん		回
④	がんに係る化学療法 (令和5年11月1日～令和6年2月29日)		
	ア のべ患者数 (化学療法1レジメンを1人として数える。内服のみのレジメンは対象外とする。)		
	例: 令和5年11月1日～令和6年2月29日の間に、エトボドナド+シスプラチン併用療法4コース実施した場合は1人と数える。		
	<入院>	16	人
	<外来>	48	人
	イ のべ処方件数 (抗がん剤が処方された件数に、それぞれの処方日数を掛けた数とする。内服のみのレジメンは対象外とする。)		
	例: 令和5年11月1日～令和6年2月29日の間に、抗がん剤が4日分処方された場合は4件と数える。		
	<入院>		件
	<外来>		件
	ウ のべ患者数 (内服のみのレジメンで実施した化学療法1レジメンを1人として数える。)		
	<入院>		件
	<外来>		件
	エ のべ処方件数 (内服のみのレジメンで抗がん剤が処方された件数に、それぞれの処方日数をかけた数とする。)		
	<入院>		件
	<外来>		件

⑤ 検査等の実施状況		
ア 病理診断の件数		
病理診断(令和5年1月1日～令和5年12月31日)	1,016	件
細胞診断(令和5年1月1日～令和5年12月31日)	2,635	件
病理組織迅速組織顕微鏡検査(令和5年1月1日～令和5年12月31日)		件
剖検(令和5年1月1日～令和5年12月31日)		件
剖検率(令和5年1月1日～令和5年12月31日)		%
イ 画像診断等の件数(令和5年1月1日～令和5年12月31日)		
上部消化管内視鏡検査(食道及び胃・十二指腸ファイバースコープ。手術に伴って検査を行った患者数も計上すること)	617	件
気管支内視鏡検査(気管支ファイバースコープ。手術に伴って検査を行った患者数も計上すること)	15	件
大腸内視鏡検査(大腸及び直腸ファイバースコープ。手術に伴って検査を行った患者数も計上すること)	263	件
血管連続撮影(動脈注射、動脈造影カテーテル法、静脈造影カテーテル法、心臓カテーテル法により、心臓や血管内に造影剤を注入して連続撮影を行う検査。手術に伴って検査を行った患者数も計上すること)	77	件
CT検査 E2001\$	5,377	件
CTガイド下生検 D409からD413までに掲げるものをCT透視下に行った場合	8	件
MRI検査 E202\$	2,050	件
RI診断検査(シンチグラム) E100\$	68	件
シングルフォトンエミッションCT(SPECT)検査 E101	441	件
PET(陽電子断層撮影)検査 E101-2\$, E101-3\$		件

3. 愛媛県がん診療連携推進病院の指定要件等について

(様式4)

病院名 愛媛労災病院

指定要件での扱い

A:必須

B:原則必須

C:対応することが望ましい

-:指定要件に記載なし

1. 診療体制				
(1) 診療機能				
① 集学的治療の提供体制と標準的治療等の提供機能				
ア	我が国に多いがんについて、集学的治療及び緩和ケアを提供する体制を有する(放射線療法については、他の医療機関との連携によって対応できる体制を有することも可)とともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療等が患者の状態に応じた適切な治療を提供している。 *「我が国に多いがん」とは、肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん及び乳がんをいう。 *「集学的治療等」とは、手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療及び緩和ケアをいう。 *「標準的治療」とは、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療をいう。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんについて、集学的治療及び緩和ケアを提供する体制を有するとともに、各学会の診療ガイドラインに準ずる標準的治療等が患者の状態に応じた適切な治療を提供している。	A	はい	(はい・いいえ)
ウ	我が国に多いがん及び我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんへの対応状況について、別紙3に記載すること。	-	別紙3	
エ	我が国に多いがんについて、クリティカルパスを整備している。 *「クリティカルパス」とは、検査及び治療を含めた詳細な診療計画表をいう。	A	はい	(はい・いいえ)
オ	我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんについて、クリティカルパスを整備している。	-	はい	(はい・いいえ)
カ	我が国に多いがん及び我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんについて、クリティカルパスを整備状況を別紙4に記載すること。	-	別紙4	
キ	がん患者の病態に応じたより適切ながん医療を提供できるよう、がんセンターを設置している。 *がんセンターとは、手術、放射線療法及び化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師その他の専門を異にする医師等によるがん患者の症状、状態及び治療方針等を意見交換・共有・検討・確認等するためのカンファレンスをいう。	C	いいえ	(はい・いいえ)
② 化学療法の提供体制機能				
ア	外来において化学療法を提供する体制を整備している。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	急変時等の緊急時に外来において化学療法を提供する当該がん患者が入院できる体制を確保している。	C	はい	(はい・いいえ)
ウ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会を設置している。 *「化学療法のレジメン」とは、治療内容をいう。	C	はい	(はい・いいえ)
エ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会は、必要に応じて、がんセンターと連携協力している。	C	いいえ	(はい・いいえ)
オ	化学療法のレジメンを審査し、組織的に管理する委員会について、別紙5に記載すること。	-	別紙5	
診療従事者				
ア	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人以上A	はい	(はい・いいえ)
イ	うち専任	C	1	人
ウ	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する薬剤師数	1人以上C	6	人
エ	うち常勤の専任	C	1	人
オ	外来化学療法室または外来における化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する看護師数	1人以上C	10	人
カ	うち常勤の専任	C	1	人
キ	化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師、薬剤師、看護師の専門性について、別紙6に記載すること。	-	別紙6	
③ 放射線療法機能(実施医療機関のみ記入してください)				
ア	定期的な線量計の校正を実施している。	-	はい	(はい・いいえ)
イ	治療用線量計の最終校正日(和暦YY年MM月DD日)	-	平成31年4月4日	
ウ	外部委員を含む放射線治療品質管理委員会を設置している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
エ	第三者機関によるリニアックの出力線量測定を受けている。	-	いいえ	(はい・いいえ)
オ	測定機関名	-		(医用原子力技術研究振興財団、その他)
カ	実施年月日(和暦YY年MM月DD日)	-		その他の場合
診療従事者				
ア	放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人以上A	1	人
イ	うち専任	C	1	人
ウ	放射線治療に携わる専任診療放射線技師数	1人以上A	3	人
エ	放射線治療における機器の精度管理、照射計画の検証、照射計画補助作業等に携わる技術者等の人数	1人以上C	3	人
オ	うち常勤の専任	C	3	
カ	放射線療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性について、別紙7に記載すること	-	別紙7	
体制(連携対応の医療機関のみ記入してください)				
ア	他の医療機関との連携によって対応する場合、連携する医療機関名について別紙8に記入すること。	A	別紙8	



④ 緩和ケアの提供体制			
機能			
ア	緩和ケアチームを整備し、当該緩和ケアチームを組織上明確に位置付けるとともに、がん患者に対し適切な緩和ケアを提供している。	A	はい (はい・いいえ)
イ	緩和ケアチームの組織上の位置づけについて別紙9に記入すること。	-	別紙9
ウ	緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順について別紙10に記入すること。	-	別紙10
エ	外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制を整備している。	C	いいえ (はい・いいえ)
オ	緩和ケア外来患者数(令和5年1月1日～令和5年12月31日)	-	0 人
カ	外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制について別紙11に記入すること。	-	別紙11
キ	緩和ケアチーム並びに必要に応じて主治医及び看護師等が参加する症状緩和に係るカンファレンスが定期的に開催されている。	A	はい (はい・いいえ)
ク	緩和ケアチームに対する新規診療症例について別紙12に記入すること。	-	別紙12
ケ	緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績について別紙13に記入すること。	-	別紙13
コ	院内の見やすい場所に緩和ケアチームによる診察が受けられる旨の掲示をするなど、がん患者に対し必要な情報提供を行っている。	A	はい (はい・いいえ)
サ	緩和ケアチームによる診察が受けられる旨の情報提供を実施している場合の広報手段	-	
	1.院内の見やすい場所に掲示している。	-	(はい・いいえ)
	2.院内誌、チラシ等で広報している。	-	(はい・いいえ)
	3.ホームページに掲載している。	-	(はい・いいえ)
	掲載している場合、該当するページのURLを記載すること。	-	<a href="http://https://www.ehimeh.ohas.go.jp/guide/desk/">http:// https://www.ehimeh.ohas.go.jp/guide/desk/</a>
	4.地域の広報誌等で広報している。	-	はい (はい・いいえ)
	5.その他の方法で掲載している。	-	いいえ (はい・いいえ)
具体的に			
シ	緩和ケアチームに関する広報状況(院内掲示)について別紙14に記入すること。	-	別紙14
ス	かかりつけ医の協力・連携を得て、主治医及び看護師が緩和ケアチームと共に、退院後の居宅における緩和ケアに関する療養上必要な説明及び指導を行っている。	A	はい (はい・いいえ)
セ	拠点病院が実施する緩和ケアに関する地域の医療機関等との連携協力体制の整備に協力している。	A	はい (はい・いいえ)
ソ	緩和ケア病床数(緩和ケア病棟入院料を算定の有無は問わない)	-	0 床
タ	緩和ケア病棟を有している。	-	いいえ (はい・いいえ)
チ	疼痛緩和の院内マニュアルがある。	-	はい (はい・いいえ)
ツ	院内で統一した疼痛の評価尺度がある。	-	はい (はい・いいえ)
診療従事者			
ア	緩和ケアチームにおいて身体症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人以上C	8 人
イ	うち専任	C	0 人
ウ	緩和ケアチームにおいて精神症状の緩和に携わる専門的な知識及び技能を有する医師数	1人以上C	0 人
エ	緩和ケアチームにおいて緩和ケアに携わる専門的な知識及び技能を有する看護師数	1人以上C	2 人
オ	うち常勤の専従	C	0
カ	緩和ケアチームに協力する薬剤師数	1人以上C	1 人
キ	緩和ケアチームに協力する医療心理に携わる者の数	1人以上C	0 人
ク	緩和ケアチームにおいて専門的な知識及び技能を有する身体症状の緩和に携わる医師、精神症状の緩和に携わる医師、看護師の専門性について、別紙15に記載すること。	-	別紙15
⑤ 病理診断			
機能(実施医療機関のみ記入してください)			
ア	診断のダブルチェックを行っている。	-	いいえ (はい・いいえ)
イ	臨床グループとの合同カンファレンスを実施している。	-	いいえ (はい・いいえ)
ウ	臨床グループからの病理診断に対するフィードバックを体系的に得ている。	-	いいえ (はい・いいえ)
エ	同じ患者の以前の病理診断について、必要に応じて詳しい情報を引き出せるようになっている。	-	はい (はい・いいえ)
診療従事者			
ア	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する専従医師数	1人以上A	1 人
イ	細胞診に携わる専門的な知識及び技能を有するコメディカルスタッフ数	1人以上C	1 人
ウ	病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性について、別紙16に記載すること	-	別紙16
体制(連携対応の医療機関のみ記入してください)			
ア	病理診断について、他の医療機関から協力を得られる体制の場合、病理診断の協力を得られる医療機関名について別紙17に記入すること。	A	別紙17
⑥ 病連携・病診連携の協力体制			
ア	拠点病院又は地域の医療機関から紹介されたがん患者の受入れを行うこと。また、がん患者の状態に応じ、拠点病院又は地域の医療機関へがん患者の紹介を行っている。	A	はい (はい・いいえ)
イ	地域の医療機関との連携状況について、別紙18に記載すること。	-	別紙18
ウ	病理診断又は画像診断に関する依頼、手術、放射線療法又は化学療法に関する相談など、地域の医療機関の医師と相互に診断及び治療に関する連携協力体制を整備している。	A	はい (はい・いいえ)
エ	地域の医療機関との連携協力体制の整備状況について、別紙19に記載すること。	-	別紙19
オ	我が国に多いがんについて、地域連携クリティカルパスの整備に協力している。 *「地域連携クリティカルパス」とは、がん診療連携拠点病院と地域の医療機関等が作成する診療役割分担表、共同診療計画表及び患者用診療計画表から構成されるがん患者に対する診療の全体像を体系化した表をいう。	A	はい (はい・いいえ)
カ	地域の医療機関等と協力し、地域連携クリティカルパスを積極的に活用している。	A	はい (はい・いいえ)
キ	地域連携クリティカルパスの整備状況について、別紙20に記載すること。	-	別紙20

<b>⑦ セカンドオピニオンの提示体制</b>				
ア	我が国に多いがんについて、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する機能を持つが、セカンドオピニオンの可能な他の医療機関を紹介するなど施設間連携によって対応できる体制を有している。 *「セカンドオピニオン」とは、診断及び治療法について、主治医以外の第三者の医師が提示する医療上の意見をいう。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	我が国に多いがん及び我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制について、別紙21に記載すること。	-	別紙21	
ウ	セカンドオピニオンに対応している旨の情報提供を実施している場合の広報手段			
	1.院内の見やすい場所に掲示している。	-	はい	(はい・いいえ)
	2.院内誌、チラシ等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	3.ホームページに掲載している。	-	はい	(はい・いいえ)
	掲載している場合、該当するページのURLを記載すること。	-	http://	<a href="https://www.ehimeh.johas.go.jp/department/special/second/">https://www.ehimeh.johas.go.jp/department/special/second/</a>
	4.地域の広報誌等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	5.その他の方法で掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
			具体的に	
エ	セカンドオピニオンに関する詳細情報を別紙22に記載すること。	-	別紙22	
オ	セカンドオピニオン外来がある。	-	はい	(はい・いいえ)
<b>⑧ その他</b>				
スタッフのサポート体制				
ア	各診療科を包含する居室等を設置している。	C	はい	(はい・いいえ)
イ	推進病院の長は、当該病院においてがん医療に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の専門性及び活動実績等を定期的に評価し、当該医師がその専門性を十分に発揮できる体制を整備している。	A	はい	(はい・いいえ)
リンパ浮腫の診療				
ア	リンパ浮腫外来がある。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	担当科			
イ	リンパ浮腫の入院治療に対応している。	-	はい	(はい・いいえ)
<b>(2) 医療施設</b>				
<b>① 専門的ながん医療を提供するための治療機器及び治療室等の設置</b>				
ア	放射線療法を行う場合、放射線治療に関する機器を設置している。ただし、当該機器は、リニアックなど、体外照射を行うための機器であること。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	外来化学療法室を設置している。	C	はい	(はい・いいえ)
ウ	集中治療室を設置している。	C	はい	(はい・いいえ)
エ	白血病を専門とする分野に掲げている場合、無菌病室を設置している。	A	白血病を専門としていない	(設置、白血病を専門としているが設置なし、白血病を専門としていない)
オ	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場を設けている。	C	いいえ	(はい・いいえ)
カ	がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の状況について別紙23に記載すること。	-	別紙23	
<b>② 敷地内禁煙等</b>				
ア	敷地内禁煙の実施等のたばこ対策に積極的に取り組んでいる。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	禁煙の状況	-	敷地内を全面禁煙	(敷地内を全面禁煙、施設内のみを全面禁煙、その他)
			その他の場合記載	
ウ	禁煙外来を実施している。	-	はい	(はい・いいえ)
エ	「職場における受動喫煙防止のためのガイドライン」(令和元年)に準拠している	-	はい	(はい・いいえ)
<b>2 研修の実施体制</b>				
(1) ア	拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修に積極的に協力するとともに参加している。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修会への協力及び参加状況について、別紙24に記載すること。	-	別紙24	
(2) ア	(1)のほか、拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした早期診断等に関する研修に積極的に協力するとともに参加している。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした早期診断等に関する研修への協力及び参加状況について、別紙25に記載すること。	-	別紙25	
(3) ア	拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の医療従事者も参加する合同カンファレンスに積極的に参加している。	A	はい	(はい・いいえ)
イ	合同カンファレンスの参加状況について別紙26に記載すること。	-	別紙26	
<b>3 情報の収集提供体制</b>				
<b>(1) 相談支援機能</b>				
①	院内に相談支援機能を有する窓口(以下「相談支援窓口」)を設置している。	A	はい	(はい・いいえ)
②	当該窓口配置しているがんに関する相談に対応できる職員数	1人以上	2	人
③	当該窓口は、拠点病院と連携して、患者、その家族及び地域の医療機関等からの相談等に対応する体制を整備している。	A	はい	(はい・いいえ)
④	相談支援窓口の相談対応状況を別紙27に記載すること。	-	別紙27	
⑤	相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との連携協力体制の構築について、別紙28に記載すること。	-	別紙28	
⑥	相談件数 ※がんに関する相談に限る。令和6年1月-2月	-	1	件
ア	対面相談		1	件
イ	電話相談		0	件
ウ	fax相談		0	件
エ	e-mail相談		0	件
⑦	各種対応窓口について別紙29に記載すること。	-	別紙29	

(2)院内がん登録				
①	院内がん登録を実施している。その際、がん登録等の推進に関する法律(平成25年法律第111号)第44条第1項の規定に基づき定められた、院内がん登録の実施に係る指針(平成27年厚生労働省告示第470号)に即して実施するよう努めている。	A	はい	(はい・いいえ)
②	院内がん登録の登録様式については、国立がん研究センターが提示する院内がん登録に係る標準様式に準拠している。	C	はい	(はい・いいえ)
ア	院内がん登録の登録項目数	-	75	項目
イ	院内がん登録の登録実施項目について、別紙30に記載すること。	-	別紙30	
③	院内がん登録を活用することにより、愛媛県が行うがん登録事業に積極的に協力している。	A	該当都道府県に協力	(複数の都道府県に協力、該当都道府県に協力、所在都道府県において未実施、協力未実施)
(3)その他				
①	我が国に多いがん以外のがんについて、集学的治療等を提供する体制を有し、及び標準的治療等を提供している場合は、そのがんの種類等を広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	1 院内の見やすい場所に掲示している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	2 院内誌、チラシ等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	3 ホームページに掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	-	http://	
	4 地域の広報誌等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	5 その他の方法で掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
			具体的に	
②	臨床研究等を行っている場合は、次に掲げる事項を実施すること。			
ア	進行中の臨床研究(治験を除く。以下同じ。)の概要及び過去の臨床研究の成果を広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	1 院内の見やすい場所に掲示している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	2 院内誌、チラシ等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	3 ホームページに掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	-	http://	
	4 地域の広報誌等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	5 その他の方法で掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
			具体的に	
イ	参加中の治験について、その対象であるがんの種類及び薬剤名等を広報することが望ましい。	-		
	1 院内の見やすい場所に掲示している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	2 院内誌、チラシ等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	3 ホームページに掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	掲載している場合は、該当ページのURLを記載すること。	-	http://	
	4 地域の広報誌等で広報している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	5 その他の方法で掲載している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
			具体的に	
ウ	院内で実施の臨床研究・治験に関して、問い合わせに対応している。	-	はい	(はい・いいえ)
	窓口で対応している。	-	はい	(はい・いいえ)
	電話で対応している。	-	はい	(はい・いいえ)
	FAXで対応している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
	e-mailで対応している。	-	いいえ	(はい・いいえ)
③	その他の情報提供等			
ア	患者図書館やインターネット環境など、患者が使うことができる情報ツールがある。	-	いいえ	(はい・いいえ)
イ	地域住民を対象としたがん検診・がん予防・がん診療に係る公開講座、あるいはマスメディアを通じたがん診療に関する情報提供に取り組んでいる	-	はい	(はい・いいえ)
ウ	患者・住民向け講演会を定期的に開催している。	-	はい	(はい・いいえ)
エ	患者・住民向け講演会の実施情報について、別紙31に記載すること。	-	別紙31	
オ	推進病院として、地域住民に対する病院の今後の取組方針などのアピールを別紙32に記載すること。	-	別紙32	

## 保有する放射線診療機器等の一覧

病院名 愛媛労災病院

令和6年4月1日現在

## 1. コンピュータ断層撮影装置(CT)

	メーカー	機種名	導入年月日	検出器の列数
(例)	〇社	ABC-12	2015年10月1日	8列
1	キャノンメディカルシステムズ	TSX-303B	2019年9月26日	64列
2				
3				
4				
5				
6				
7				

## 2. 磁気共鳴断層撮影装置(MRI)

	メーカー	機種名	導入年月日	磁場強度(テスラ数)
(例)	〇社	ABC-12	2015年10月1日	1.5T
1	シーメンス	MAGNETOM Avanto Q Engine	2006年1月10日	1.5テスラ
2				
3				
4				
5				
6				

## 3. 核医学検査に関する放射線診断装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	PET装置	〇社	ABC-12	2015年10月1日	
1	SPECT	GEヘルスケア	INFINIA	2012年4月5日	
2					
3					
4					
5					

## 4. マンモトーム

	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	〇社	ABC-12	2015年10月1日	
1				
2				
3				
4				

## 5. 血管造影連続撮影検査(またはIVR専用)に関する放射線診断装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	DSA	〇社	ABC-12	2015年10月1日	
1	DSA	島津製作所	Trinias B12 Mix	2016年11月30日	
2					
3					
4					
5					

6. 外部照射装置

	種類	メーカー	機種名	導入年月日	X線出力エネルギー	幅1cm以下の多段コリメータの有無
(例)	リニアック	○社	ABC-12	2015年10月1日	6MV、10MV	有
1						
2						
3						

7. 小線源治療装置

	メーカー	機種名	導入年月日	使用線源
(例)	○社	ABC-12	2015年10月1日	イリジウム-192
1				
2				
3				

放射線治療計画システム

8. X線シミュレータの有無

	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	○社	ABC-12	2015年10月1日	
1				
2				
3				

9. 放射線治療計画専用CTの有無

	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	○社	ABC-12	2015年10月1日	
1				
2				
3				

10. 三次元放射線治療計画ワークステーションの有無

	メーカー	機種名	導入年月日	備考(性能など)
(例)	○社	ABC-12	2015年10月1日	
1				
2				
3				

11. バーチャルスライド装置

	メーカー	機種名	導入年月日
(例)	○社	ABC-12	2015年10月1日
1			
2			
3			

### 先進医療への対応状況（がんに関するもの）

病院名 愛媛労災病院

	先進医療技術名	第2項/ 第3項 (※)	承認年月日	実施件数 (令和5年11月 ～令和6年3 月)	担当診療科名
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

※「厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準」(平成20年厚生労働省告示第129号)第2項各号に掲げる先進医療、同告示第3項各号に掲げる先進医療の区別を記入。

## 診療機能

期間 令和6年4月1日時点  
 病院名 愛媛労災病院

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の実施状況 ※令和6年4月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※令和5年1月1日～令和5年12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の当該疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載内容				
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可	
(例) 肺がん	診療可	手術	開胸手術	実施可	あり	呼吸器外科	2	はい	いいえ	はい	http:// .....
			胸腔鏡下手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	腫瘍内科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線治療科	5	いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	実施可	あり						
		定位放射線治療	実施可	あり							
集学的治療		実施可		上記の科							
肺がん		手術	開胸手術	実施可	あり	呼吸器内科・外科	2	いいえ	はい	はい	<a href="https://www.ehimeh.johas.go.jp">https://www.ehimeh.johas.go.jp</a>
			胸腔鏡下手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	呼吸器内科・外科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
			定位放射線治療	未実施	なし						
		小線源治療	未実施	なし							
光線力学療法		未実施	なし								
集学的治療		実施可		上記の科							
胃がん		手術	開腹手術	実施可	あり	外科	2	いいえ	はい	はい	<a href="https://www.ehimeh.johas.go.jp">https://www.ehimeh.johas.go.jp</a>
			腹腔鏡下手術	実施可	なし						
		内視鏡的治療	粘膜切除術(EMR)	実施可	あり	外科	2	いいえ	はい	いいえ	
			粘膜下層剥離術(ESD)	実施可	あり						
		化学療法		実施可	なし	外科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
光線力学療法		未実施	なし								
集学的治療		実施可		上記の科							
大腸がん		手術	開腹手術	実施可	あり	外科	2	いいえ	はい	はい	<a href="https://www.ehimeh.johas.go.jp">https://www.ehimeh.johas.go.jp</a>
			腹腔鏡下手術	実施可	なし						
		内視鏡的治療	粘膜切除術(EMR)	実施可	あり	外科	2	いいえ	はい	いいえ	
		化学療法		実施可	あり	外科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
			小線源治療	未実施	なし						
集学的治療		実施可		上記の科							

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績										
		治療内容	現在の実施状況 ※令和6年4月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※令和5年1月1日～令和5年12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の当該疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載内容					
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可		
肝がん		手術	開腹手術	実施可	なし	外科	1	いいえ	はい	はい	<a href="https://www.ehimeh.johas.go.jp">https://www.ehimeh.johas.go.jp</a>	
		化学療法		実施可	なし	外科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
		穿刺療法	ラジオ波焼灼療法	未実施	なし							
			マイクロ波凝固法	未実施	なし							
			エタノール局所注入療法	未実施	なし							
		肝動脈塞栓術(TAE)		実施可	なし	外科	1	いいえ	はい	いいえ		
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
定位放射線治療	未実施		なし									
集学的治療		実施可		上記の科								
乳がん		手術	乳房切除	実施可	あり	外科	1	はい	はい	はい	<a href="https://www.ehimeh.johas.go.jp">https://www.ehimeh.johas.go.jp</a>	
			乳房温存	実施可	なし							
			乳房再建	未実施	なし							
		化学療法		実施可	あり	外科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
			小線源治療	未実施	なし							
		冷凍凝固摘出術		未実施	なし							
集学的治療		実施可		上記の科								



対象疾患 (診療可・診療不可)	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績								
		治療内容	現在の実施状況 ※令和6年4月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※令和5年1月1日～令和5年12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
脳腫瘍	手術	実施可	なし	脳神経外科	1	はい	いいえ	はい	<a href="https://www.ehimeh.johas.go.jp">https://www.ehimeh.johas.go.jp</a>	
	化学療法	実施可	なし	脳神経外科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
	放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		定位放射線治療	未実施	なし						
		強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし						
		小線源治療	未実施	なし						
	集学的治療	実施可		上記の科						
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:神経膠腫(びまん性星細胞腫、退形成性星細胞腫、膠芽腫など)、髄膜腫、神経鞘腫、下垂体腺腫、胚細胞腫、悪性リンパ腫、頭蓋咽頭腫など								
脊髄腫瘍	手術	実施可	なし	整形外科	5	いいえ	はい	はい	<a href="https://www.ehimeh.johas.go.jp">https://www.ehimeh.johas.go.jp</a>	
	化学療法	未実施	なし							
	放射線療法	体外照射	未実施	なし						
		定位放射線治療	未実施	なし						
		強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし						
		小線源治療	未実施	なし						
	集学的治療	未実施								
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:脊髄腫瘍など								
眼、眼窩腫瘍	手術	未実施	なし							
	冷凍凝固術	未実施	なし							
	光凝固術	未実施	なし							
	化学療法	未実施	なし							
	眼動注	未実施	なし							
	放射線療法	体外照射	未実施	なし						
		強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし						
		小線源治療	未実施	なし						
集学的治療	未実施									
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:眼瞼腫瘍、結膜腫瘍、網膜芽細胞腫、ぶどう膜悪性黒色腫、涙腺腫瘍など								

対象疾患 (診療可・診療不可)	診療状況	各治療の実施状況と実績										
		治療内容		現在の実施状況 ※令和6年4月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※令和5年1月1日～令和5年12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況				左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
								治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)		
頭頸部がん		手術	摘除術、再建術	未実施	なし							
		化学療法		未実施	なし							
		放射線療法	体外照射	未実施	なし							
			強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし							
			小線源治療	未実施	なし							
		集学的治療		未実施								
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例: 上咽頭がん、中咽頭がん、下咽頭がん、喉頭がん、舌がん、歯肉がん、頬粘膜がん、唾液腺がん、上顎がん、下顎がん、鼻腔がんなど										
甲状腺がん		手術		実施可	なし	総合診療科	1	いいえ	いいえ	はい	<a href="https://www.ehimeh.ijohas.go.jp">https://www.ehimeh.ijohas.go.jp</a>	
		化学療法		実施可	なし	総合診療科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
			強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし							
			小線源治療	未実施	なし							
			放射性ヨード内服治療	未実施	なし							
集学的治療		実施可		上記の科								
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例: 甲状腺がん										
食道がん		手術	開胸手術	実施可	なし	外科	2	いいえ	はい	はい	<a href="https://www.ehimeh.ijohas.go.jp">https://www.ehimeh.ijohas.go.jp</a>	
			胸腔鏡下手術	未実施	なし							
		内視鏡的治療	粘膜切除術(EMR)	実施可	なし	外科	2	いいえ	はい	いいえ		
			粘膜下層剥離術(ESD)	実施可	あり							
		化学療法		実施可	なし	外科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
			小線源治療	未実施	なし							
光線力学療法		未実施	なし									
集学的治療		実施可		上記の科								
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例: 頸部食道がん、胸部食道がん、食道胃接合部がん(腹部食道がん)など										

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績										
		治療内容		現在の実施状況 ※令和6年4月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※令和5年1月1日～令和5年12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況				左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
								治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)		
縦隔腫瘍		手術	開胸手術	実施可	なし	外科	2	いいえ	いいえ	はい	<a href="https://www.ehimeh.johas.go.jp">https://www.ehimeh.johas.go.jp</a>	
		化学療法		実施可	なし	外科	2	いいえ	いいえ	いいえ		
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
		集学的治療		実施可		上記の科						
		昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:胸腺腫など								
中皮腫		手術		未実施	なし							
		化学療法		実施可	なし	外科	2	いいえ	いいえ	いいえ		
		放射線療法	体外照射	未実施	なし							
		集学的治療		実施可		上記の科						
		昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:中皮腫								
肺癌		手術	開腹手術	実施可	なし	外科	1	いいえ	はい	はい	<a href="https://www.ehimeh.johas.go.jp">https://www.ehimeh.johas.go.jp</a>	
		化学療法		実施可	なし	外科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
		集学的治療		実施可		上記の科						
		昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:肺癌								
胆道がん		手術	開腹手術	実施可	なし	外科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
		化学療法		実施可	なし	外科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
			小線源治療	未実施								
		集学的治療		実施可		上記の科						
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:胆管がん、胆嚢がん、乳頭部がん										

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の実施状況 ※令和6年4月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※令和5年1月1日～令和5年12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況				左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)		
十二指腸・小腸がん		手術	開腹手術	実施可	なし	外科	2	いいえ	はい	はい	<a href="https://www.ehimeh.johas.go.jp">https://www.ehimeh.johas.go.jp</a>
		化学療法		実施可	なし	外科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可		上記の科					
		昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:乳頭部がん、十二指腸がん、小腸がんなど							
腎がん		手術	開腹手術	実施可	なし	泌尿器科	1	いいえ	はい	はい	<a href="https://www.ehimeh.johas.go.jp">https://www.ehimeh.johas.go.jp</a>
			腹腔鏡下手術	実施可	なし						
			腹腔鏡下小切開手術	未実施	なし						
		化学療法		実施可	なし	泌尿器科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		インターフェロン療法		実施可	なし	泌尿器科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
集学的治療		実施可		上記の科							
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:腎がん									
膀胱がん		手術	開腹手術	実施可	なし	泌尿器科	1	いいえ	はい	はい	<a href="https://www.ehimeh.johas.go.jp">https://www.ehimeh.johas.go.jp</a>
			経尿道的手術	実施可	あり						
		化学療法		実施可	あり	泌尿器科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	体外照射	実施可	あり	放射線科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		膀胱内注入療法		実施可	あり	泌尿器科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療		実施可		上記の科					
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:膀胱がん									

対象疾患 (診療可・診療不可)	診療状況	各治療の実施状況と実績								
		治療内容	現在の実施状況 ※令和6年4月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※令和5年1月1日～令和5年12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
尿路がん	手術	開腹手術	実施可	なし	泌尿器科	1	いいえ	はい	はい	<a href="https://www.ehimeh.ijohas.go.jp">https://www.ehimeh.ijohas.go.jp</a>
		腹腔鏡下手術	実施可	なし						
		経尿道的手術	実施可	なし						
	化学療法		実施可	なし	泌尿器科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
	放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
	腎盂・尿管内注入療法		未実施	なし						
	集学的治療		実施可		上記の科					
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:腎盂がん、尿管がん、尿管がんなど								
副腎腫瘍	手術	開腹手術	未実施	なし						
		化学療法		未実施	なし					
	放射線療法	体外照射	未実施	なし						
	集学的治療		未実施							
	昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:褐色細胞腫、副腎皮質がんなど							
前立腺がん	手術	開腹手術	実施可	なし	泌尿器科	1	いいえ	はい	はい	<a href="https://www.ehimeh.ijohas.go.jp">https://www.ehimeh.ijohas.go.jp</a>
		腹腔鏡下手術	未実施	なし						
		腹腔鏡下小切開手術	未実施	なし						
	化学療法		実施可	あり	泌尿器科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
	放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし						
		小線源治療	未実施	なし						
集学的治療		実施可		上記の科						
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:前立腺がん								

対象疾患 (診療可・診療不可)	診療状況	各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の実施状況 ※令和6年4月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※令和5年1月1日～令和5年12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況				左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)		
精巣がん	手術	実施可	なし	泌尿器科	1	いいえ	はい	はい		<a href="https://www.ehimeh.johas.go.jp">https://www.ehimeh.johas.go.jp</a>	
	化学療法	実施可	なし	泌尿器科	1	はい	いいえ	いいえ			
	放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	1	はい	いいえ	いいえ		
	集学的治療	実施可		上記の科							
	昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:精巣がん								
その他の男性生殖器がん	手術	実施可	なし	泌尿器科	1	いいえ	いいえ	いいえ			
	化学療法	実施可	なし	泌尿器科	1	いいえ	いいえ	いいえ			
	放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
	集学的治療	実施可		上記の科							
	昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:陰茎がん								
子宮がん	手術	開腹手術	実施可	あり	産婦人科	3	はい	はい	はい	<a href="https://www.ehimeh.johas.go.jp">https://www.ehimeh.johas.go.jp</a>	
		腹腔鏡下手術(腔式)	未実施	なし							
	化学療法		実施可	あり	産婦人科	3	いいえ	いいえ	いいえ		
	放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
		小線源治療	未実施	なし							
	光線力学療法		未実施	なし							
集学的治療	実施可		上記の科								
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:子宮頸がん、子宮体がん									
卵巣がん	手術	開腹手術	実施可	あり	産婦人科	3	はい	はい	はい	<a href="https://www.ehimeh.johas.go.jp">https://www.ehimeh.johas.go.jp</a>	
		腹腔鏡下手術(腔式)	未実施	なし							
	化学療法		実施可	あり	産婦人科	3	いいえ	いいえ	いいえ		
	放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
		小線源治療	未実施	なし							
集学的治療	実施可		上記の科								
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:卵巣がん									

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	貴院における各治療の実施状況と実績									
		治療内容	現在の実施状況 ※令和6年4月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※令和5年1月1日～令和5年12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況				左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)		
その他の女性生殖器がん	手術	開腹手術	実施可	あり	産婦人科	3	はい	はい	はい	<a href="https://www.ehimeh.johas.go.jp">https://www.ehimeh.johas.go.jp</a>	
	化学療法		実施可	あり	産婦人科	3	いいえ	いいえ	いいえ		
	放射線療法	体外照射	実施可	なし	放射線科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
		小線源治療	未実施	なし							
	集学的治療		実施可		上記の科						
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:子宮肉腫、絨毛がん、卵管がん、膣がん、外陰がんなど									
皮膚腫瘍	手術		実施可	なし	形成外科	1	いいえ	いいえ	いいえ		
	化学療法		未実施	なし							
	放射線療法	体外照射	未実施	なし							
	インターフェロン療法		未実施	なし							
	凍結療法		未実施	なし							
	集学的治療		実施可								
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:悪性黒色腫、乳房外パジェット、基底細胞がん、有棘細胞がんなど									
悪性骨軟部腫瘍	手術	切・離断術	未実施	なし							
		患肢温存術	未実施	なし							
		再建術	未実施	なし							
		骨移植術	未実施	なし							
	化学療法		未実施	なし							
	放射線療法	体外照射	未実施	なし							
		小線源治療	未実施	なし							
集学的治療		未実施									
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:骨肉腫、軟骨肉腫、Ewing肉腫、悪性線維性組織球腫、横紋筋肉腫、平滑筋肉腫、血管肉腫、線維肉腫など									

対象疾患 (診療可・診療不可)	診療状況	各治療の実施状況と実績								
		治療内容	現在の実施状況 ※令和6年4月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※令和5年1月1日～令和5年12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
血液腫瘍		化学療法	未実施	なし						
		移植	自家末梢血幹細胞移植	未実施	なし					
			血縁者間同種造血幹細胞移植	未実施	なし					
			非血縁者間同種骨髄移植または臍帯血移植	未実施	なし					
		放射線療法	体外照射	未実施	なし					
			全身照射	未実施	なし					
		集学的治療	未実施							
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫など								
小児脳腫瘍		手術	未実施	なし						
		化学療法	未実施	なし						
		放射線療法	体外照射	未実施	なし					
			定位放射線治療	未実施	なし					
			強度変調放射線治療(IMRT)	未実施	なし					
			小線源治療	未実施	なし					
		集学的治療	未実施							
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:神経膠腫、頭蓋咽頭腫、髄芽腫、胚細胞腫など								
小児網膜芽細胞腫		手術	未実施	なし						
		化学療法	未実施	なし						
		眼動注	未実施	なし						
		放射線療法	体外照射	未実施	なし					
			小線源治療	未実施	なし					
		冷凍凝固術	未実施	なし						
		光凝固術	未実施	なし						
		集学的治療	未実施							
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください		例:小児網膜芽細胞腫								
小児固形										



形腫瘍	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績								
		治療内容	現在の実施状況 ※令和6年4月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※令和5年1月1日～令和5年12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
小児悪性骨軟部腫瘍	手術	未実施	なし							
	化学療法	未実施	なし							
	放射線療法	体外照射	未実施	なし						
		小線源治療	未実施	なし						
	集学的治療	未実施								
	昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:横紋筋肉腫、線維肉腫、骨腫瘍、ユーイング肉腫など								
その他の小児固形腫瘍	手術	未実施	なし							
	化学療法	未実施	なし							
	放射線療法	体外照射	未実施	なし						
		小線源治療	未実施	なし						
	集学的治療	未実施								
	昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:神経芽細胞腫、Wilms腫瘍、肝芽腫など								
小児血液腫瘍	化学療法	未実施	なし							
	移植	自家末梢血幹細胞移植	未実施	なし						
		血縁者間同種造血幹細胞移植	未実施	なし						
		非血縁者間同種骨髓移植または臍帯血移植	未実施	なし						
	放射線療法	体外照射	未実施	なし						
		小線源治療	未実施	なし						
集学的治療	未実施									
昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:急性リンパ性白血病、急性骨髄性白血病、慢性リンパ性白血病、慢性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、ホジキンリンパ腫、非ホジキンリンパ腫など									
原発不明がん	手術	未実施	なし							
	化学療法	未実施	なし							
	放射線療法	未実施	なし							
	集学的治療	未実施								
	昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例:原発不明がん								

対象疾患	診療状況 (診療可・診療不可)	各治療の実施状況と実績								
		治療内容	現在の実施状況 ※令和6年4月時点 (実施可・未実施)	昨年の実績 ※令和5年1月1日～令和5年12月31日 (あり・なし)	担当診療科	各科の該当疾患を専門としている医師数	ホームページへの掲載状況			
							治療内容の掲載 (はい・いいえ)	治療実績等の掲載 (はい・いいえ)	医師の専門分野等の掲載 (はい・いいえ)	左記の内容を掲載しているページのURL ※複数のページのURLの記載可です
性腺外胚細胞腫		手術	未実施	なし						
		化学療法	未実施	なし						
		放射線療法	未実施	なし						
		集学的治療	未実施							
		昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例: 性腺外胚細胞腫							
GIST (Gastrointestinal Stromal Tumor: 消化管間質腫瘍)		手術	実施可	なし	外科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		化学療法	実施可	なし	外科	2	いいえ	いいえ	いいえ	
		放射線療法	実施可	なし	放射線科	1	いいえ	いいえ	いいえ	
		集学的治療	実施可		上記の科					
		昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください	例: GIST							
その他疾患名:		手術								
		化学療法								
		放射線療法								
		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください								
その他疾患名:		手術								
		化学療法								
		放射線療法								
		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください								
その他疾患名:		手術								
		化学療法								
		放射線療法								
		集学的治療								
		昨年の各疾患の治療実績 (令和5年1月1日～令和5年12月31日) ※治療実績ありの疾患名を右記の欄に記載してください								

## 院内クリティカルパス(がんに関するもの)

期間 令和6年1月1日～2月28日

病院名 愛媛労災病院

パス整備数 91

パス適応数 8

	がんの種類	治療内容	院内クリティカルパス名	新規の適応患者数	最終更新日
(例)	肺がん	手術療法	開胸肺葉切除術パス	8	令和3年12月13日
(例)	肺がん	化学療法	カルボプラチン・パクリタキセル併用療法パス	1	令和4年8月7日
(例)	大腸がん	手術療法	結腸切除パス	6	令和5年3月1日
1	肺がん	化学療法	パクリタキセル+プラトシン+ラステット併用療法パス		平成17年2月1日
2	肺がん	化学療法	パクリタキセル療法パス		平成17年2月1日
3	肺がん	化学療法	パクリタキセル療法外来パス		平成17年2月1日
4	肺がん	化学療法	ナベルピン+プラトシン併用療法パス		平成17年2月1日
5	肺がん	化学療法	低用量CDDP+5FU併用療法パス		平成18年3月1日
6	肺がん	化学療法	ジェムザール+パクリタキセル併用療法パス		平成18年3月1日
7	肺がん	化学療法	気管支動注パス		平成19年2月1日
8	肺がん	化学療法	カルボメルク+パクリタキセル併用療法パス		平成20年7月1日
9	肺がん	化学療法	カルボメルク+パクリタキセル併用療法外来パス		平成20年7月1日
10	肺がん	化学療法	タキソテール療法外来パス		平成20年7月1日
11	肺がん	化学療法	GEM+パクリタキセル併用療法外来パス		平成20年7月1日
12	肺がん	化学療法	GEM療法外来パス		平成20年7月1日
13	肺がん	化学療法	低用量CDDP+テガフル併用療法外来パス		平成21年4月1日
14	肺がん	化学療法	GEM+CDDP8日療法外来パス		平成22年3月1日
15	肺がん	化学療法	CDDP+VNR(25mg/m <sup>2</sup> )		平成27年6月15日
16	肺がん	化学療法	PTX(180mg/m <sup>2</sup> )+CBDCA(AUC=5)		平成28年6月6日
17	肺がん	化学療法	AMR療法		平成28年11月25日
18	肺がん	化学療法	GBDCA+PEM+キイトルーダ		
19	肺がん	化学療法	S1+CBDCA(ACU=5)(入院用)		
20	肺がん	化学療法	キイトルーダ療法	1	
21	肺がん	化学療法	テセントリク療法		
22	肺がん	化学療法	CBDCA+Nab-PTX+キイトルーダ		

	がんの種類	治療内容	院内クリティカルパス名	新規の適応患者数	最終更新日
23	肺がん	化学療法	DTX療法	1	
24	胃がん	手術療法	胃全摘出術パス		平成19年10月1日
25	胃がん	手術療法	幽門側胃切除術パス		平成19年10月1日
26	胃がん	手術療法	上部ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)		平成26年1月1日
27	肝がん	手術療法	RFA(肝腫瘍ラジオ波焼灼療法)		平成19年6月1日
28	大腸がん	手術療法	結腸切除術パス		平成19年10月1日
29	大腸がん	化学療法	RPMI療法外来パス		平成19年10月1日
30	大腸がん	化学療法	RPMI療法パス		平成19年10月1日
31	大腸がん	化学療法	FOLFOX6療法外来パス		平成20年7月1日
32	大腸がん	化学療法	FOLFOX6+アバチン併用療法外来パス①		平成20年7月1日
33	大腸がん	化学療法	FOLFOX6+アバチン併用療法外来パス②		平成20年7月1日
34	大腸がん	化学療法	FOLFIRI療法外来パス		平成20年7月1日
35	大腸がん	化学療法	FOLFIRI+アバチン併用療法外来パス		平成20年7月1日
36	大腸がん	化学療法	RPMI+アバチン併用療法外来パス①		平成20年7月1日
37	大腸がん	化学療法	RPMI+アバチン併用療法外来パス②		平成20年7月1日
38	大腸がん	化学療法	RPMI+アバチン併用療法外来パス③		平成20年7月1日
39	大腸がん	化学療法	大腸化学療法(総合診療科)パス		平成20年9月1日
40	大腸がん	化学療法	アービタックス療法外来パス		平成21年4月1日
41	大腸がん	化学療法	アービタックス+CPT-11療法外来パス		平成21年4月1日
42	大腸がん	化学療法	カンプト療法外来パス		平成22年3月1日
43	大腸がん	化学療法	XEROX療法外来パス		平成22年3月1日
44	大腸がん	化学療法	XEROX+アバチン併用療法外来パス		平成22年3月1日
45	大腸がん	手術療法	下部ESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)		平成26年1月1日
46	大腸がん	化学療法	mFOLFOX6+Bmab	4	平成27年2月20日
47	大腸がん	化学療法	XELOX(入院用)		平成27年9月24日
48	乳がん	手術療法	胸筋温存乳房切除術パス		平成19年10月1日
49	乳がん	手術療法	乳房温存術		平成19年10月1日
50	乳がん	化学療法	EC療法パス		平成19年10月1日
51	乳がん	化学療法	EC療法外来パス		平成19年10月1日
52	乳がん	化学療法	パクリタキセル療法パス		平成20年7月1日

	がんの種類	治療内容	院内クリティカルパス名	新規の適応患者数	最終更新日
53	乳がん	化学療法	パクリタキセル療法外来パス		平成20年7月1日
54	乳がん	化学療法	タキソテール療法パス		平成20年7月1日
55	乳がん	化学療法	タキソテール療法外来パス		平成20年7月1日
56	乳がん	化学療法	ハーセプチン療法パス		平成20年7月1日
57	乳がん	化学療法	パクリタキセル+ハーセプチン併用療法パス		平成20年7月1日
58	乳がん	化学療法	ハーセプチン+ゾメタ併用療法パス		平成20年7月1日
59	乳がん	化学療法	パージェタ+Tmab		平成25年9月13日
60	乳がん	化学療法	パージェタ+Tmab(2回目以降)		平成27年1月27日
61	乳がん	化学療法	Tmab(2回目以降)		
62	乳がん	化学療法	Tmab+DTX(2回目以降)		
63	乳がん	化学療法	パージェタ+Tmab+DTX(2回目以降)		
64	乳がん	化学療法	パージェタ+Tmab+DTX(初回)		
65	膵がん	化学療法	GEM療法パス		平成20年7月1日
66	子宮がん	手術療法	AT(卵巣・子宮全摘出術)パス		平成17年11月1日
67	子宮がん	手術療法	VT(腔式子宮全摘出術、腔壁形成術)パス		平成17年11月1日
68	子宮がん	化学療法	TJ法(パクリタキセル+カルボメルク)療法パス		平成19年3月1日
69	子宮がん	化学療法	MTX療法		平成21年4月1日
70	子宮がん	手術療法	子宮腔部切除術パス		平成22年1月1日
71	子宮がん	手術療法	子宮腔部切除術(腹式子宮摘出術)パス		平成22年1月1日
72	子宮がん	化学療法	EP法(エトポシド+カルボプラチン)療法パス		平成22年1月1日
73	子宮がん	化学療法	DJ法(タキソテール+カルボプラチン)療法パス		平成22年2月1日
74	子宮がん	化学療法	婦人科化学療法 GMP		平成25年1月1日
75	子宮がん	化学療法	子宮癌・卵巣癌・DJ療法		
76	膀胱がん	化学療法	ピノルピン膀胱内注入療法		平成27年1月23日
77	子宮がん	化学療法	DJ療法+Bmab		平成27年5月1日
78	膀胱がん	化学療法	GEM療法外来パス		平成22年3月1日
79	膀胱がん	化学療法	GC療法(Day1)パス		平成22年3月1日
80	膀胱がん	化学療法	GC療法(Day8/15)パス		平成22年3月1日
81	膀胱がん	化学療法	テラルピシン膀胱内注入療法		平成22年7月15日
82	膀胱がん	手術療法	TURBT(経尿道的膀胱腫瘍切除術)パス		平成22年8月1日

	がんの種類	治療内容	院内クリティカルパス名	新規の適応患者数	最終更新日
83	膀胱がん	手術療法	GC療法(4週1サイクル)	1	
84	前立腺がん	化学療法	タキソテール療法外来パス		平成19年6月1日
85	前立腺がん	手術療法	前立腺全摘除術パス		平成22年3月1日
86	前立腺がん	化学療法	ドセタキセル療法パス		平成22年3月1日
87	前立腺がん	手術療法	TUR-P(経尿道的前立腺腫瘍切除術)パス		平成22年8月1日
88	卵巣がん	化学療法	Bmab単独療法		平成27年7月28日
89	卵巣がん	化学療法	GC療法+Bmab療養		平成28年11月1日
90	子宮がん	化学療法	DJ療法	1	
91	膀胱がん	化学療法	GEM療法		



## 化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する 医師、薬剤師、看護師の専門性

期間 令和6年4月1日時点

病院名 愛媛労災病院

	職種	診療科 (医師のみ記載)	常勤 /非常勤	専従/専任/兼任	化学療法 の経験 年数(年)	専門医等資格 ※1人につき、関連するもの3つまで。
(例)	医師	腫瘍内科	常勤	専従	20	〇〇学会認定医(2012年)、 同 専門医(2016年)
1	医師	外科	常勤	5割未満	19	日本外科学会専門医(2016年)
2	医師	内科	常勤	5割未満	21	日本内科学会認定医(2004年) 日本糖尿病学会専門医(2012年)
3	医師	呼吸器内科	常勤	5割未満	40	日本呼吸器学会専門医(2011年) 同 指導医(2013年) 日本化学療法学会抗菌化学療法認定医(2013年)
4	医師	泌尿器科	常勤	5割未満	31	日本泌尿器科学会専門医(2003年)
5	医師	産婦人科	常勤	5割未満	44	日本産婦人科学会専門医(2014年)
6	医師	外科	常勤	5割未満	22	日本外科学会専門医(2008年)
7	薬剤師		常勤	5割未満	31	
8	薬剤師		常勤	5割未満	37	
9	薬剤師		常勤	5割未満	36	
10	薬剤師		常勤	5割未満	26	
11	薬剤師		常勤	5割未満	26	
12	薬剤師		常勤	5割未満	19	
13	薬剤師		常勤	5割以上8割未満	16	
14	看護師		常勤	兼任	19	
15	看護師		常勤	兼任	36	



16	看護師		常勤	5割以上8割未満	33	がん化学療法認定看護師
17	看護師		常勤	5割未満	27	
18	看護師		常勤	5割未満	23	
19	看護師		常勤	5割未満	30	
20	看護師		常勤	5割未満	22	
21	看護師		常勤	5割未満	21	
22	看護師		常勤	5割未満	21	
23	看護師		常勤	5割未満	13	

- 研修医は除くこと。
- 常勤とは、当該医療機関が定める1週間の就業時間のすべてを勤務している者をいう。ただし、当該医療機関が定める就業時間が32時間に満たない場合は、常勤とみなさない。（「医療法第21条の規定に基づく人員の算出に当たっての取扱い等について」（平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号、厚生省健康政策局長・医薬安全局長連名通知）の別添「常勤医師等の取扱いについて」を参照）。
- 「専従」及び「専任」とは、当該医療機関における当該診療従事者が、「専従」については「8割以上」、「専任」については「5割以上」、当該業務に従事している者をいう。



### 集学的治療の提供にあたって放射線療法を 他の医療機関との連携によって対応できる体制

令和5年1月から12月について記載(延べ数ではなく実数を記載すること。)

病院名 愛媛労災病院

	放射線療法について連携する医療機関名	所在地	紹介患者数
(例)	〇〇〇病院	〇〇市〇〇町〇-〇-〇	35人
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

※自院において放射線療法を行っている場合は、本別紙の記載は不要。

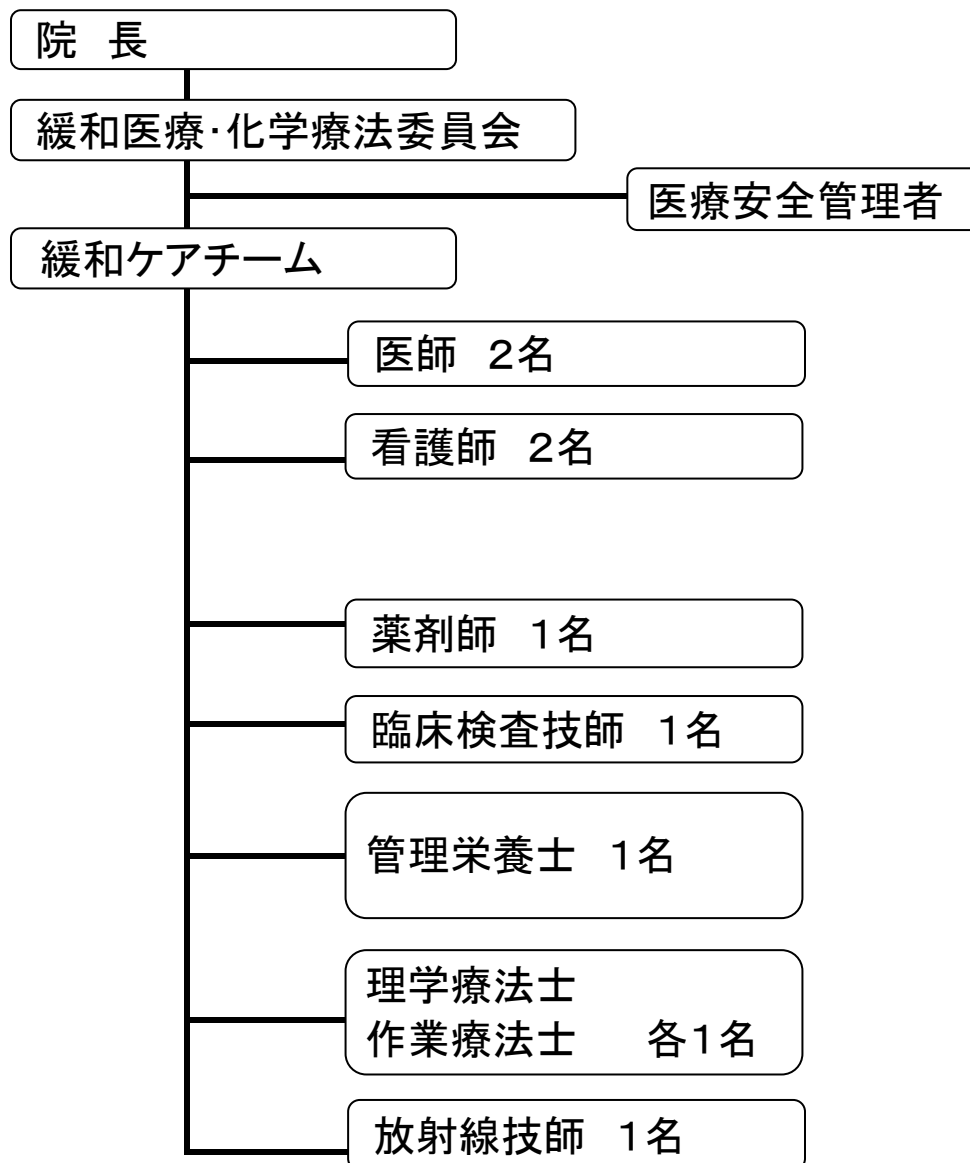


## 緩和ケアチームの組織・体制

期間 令和6年4月1日時点

病院名 愛媛労災病院

病院内の緩和ケアチームの位置づけが分かる組織図



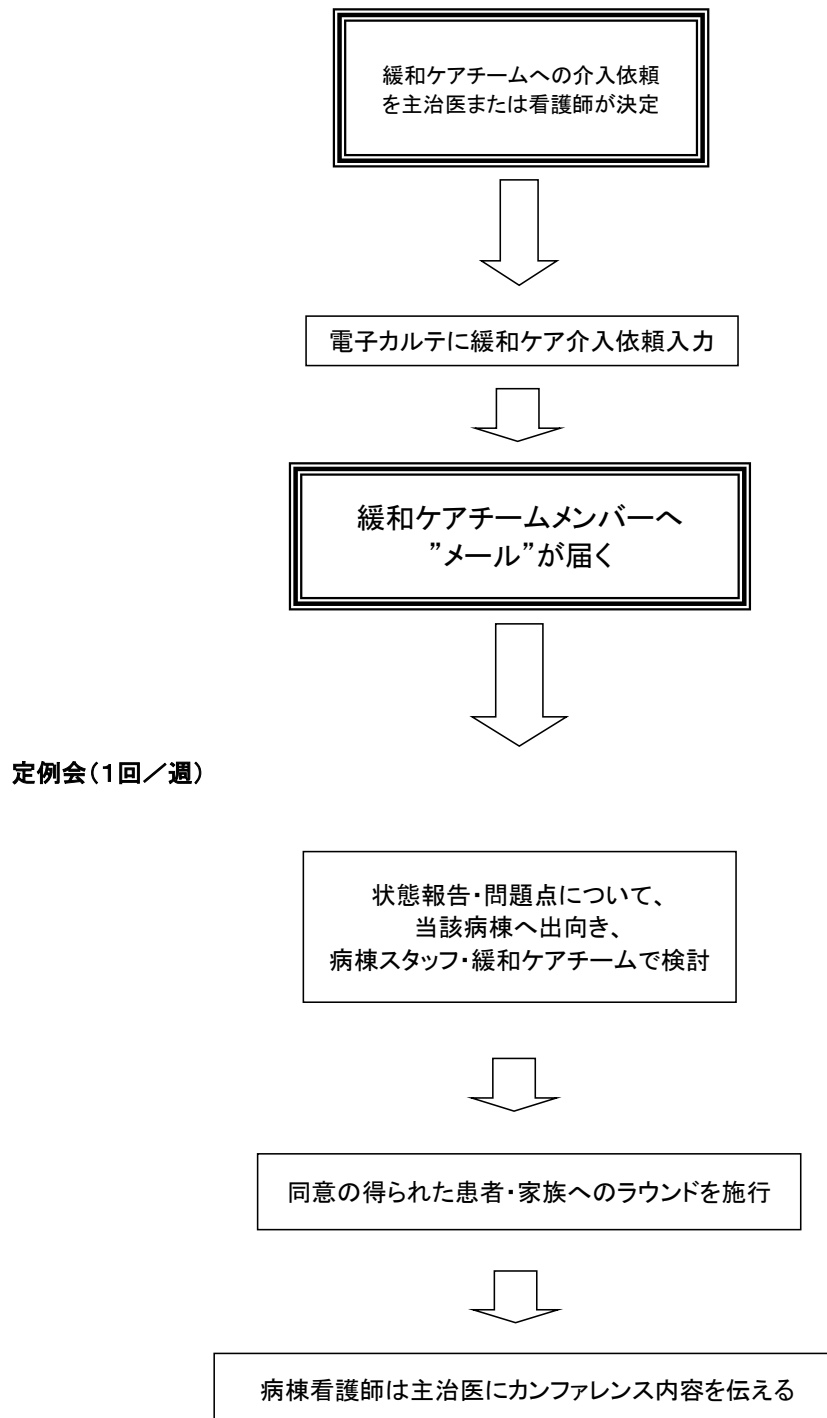
## 緩和ケアチームへの入院患者紹介の手順

期間 令和6年4月1日時点

病院名 愛媛労災病院

緩和ケアチームへの入院患者の紹介の手順について必要に応じ図等を用いわかりやすく説明してください。

### 患者依頼方法フローチャート



(別紙11)

## 外来において専門的な緩和ケアを提供できる体制

期間 令和6年4月1日時点

病院名 愛媛労災病院

緩和ケア外来の診療日時等がわかる外来担当表を添付してください。

「該当なし」





## 緩和ケアチームと主診療科との緩和ケアカンファレンス開催実績

期間 令和6年1月1日～2月28日

病院名 愛媛労災病院

2ヶ月分の総数

0

※記載に当たっては、個人が特定される情報を記載しないこと。

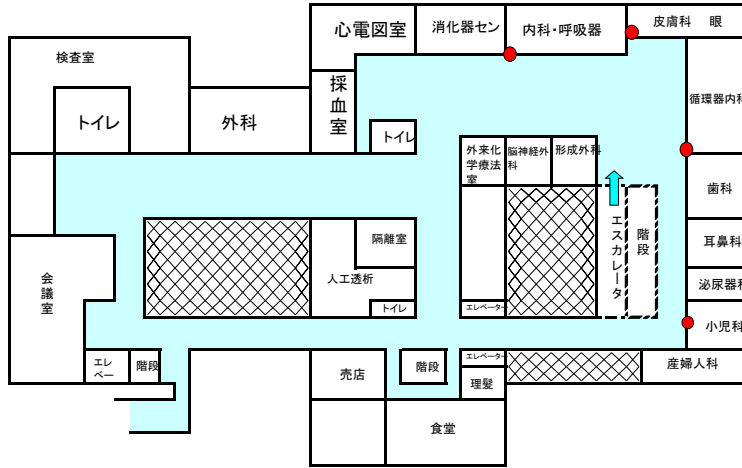
	開催日	時間 (分)	検討 症例数	参加 人数	主診療科名	主診療科以外の 参加者の診療科名	参加者の職名・職種
(例)	2月3日	60	3	20	乳腺外科	腫瘍内科	乳腺外科部長、乳腺外科医、腫瘍内科医、放射線治療医、放射線診断医、内視鏡医、看護師、薬剤師、ソーシャルワーカー
1					「該当なし」		
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							

# 緩和ケアに関する広報

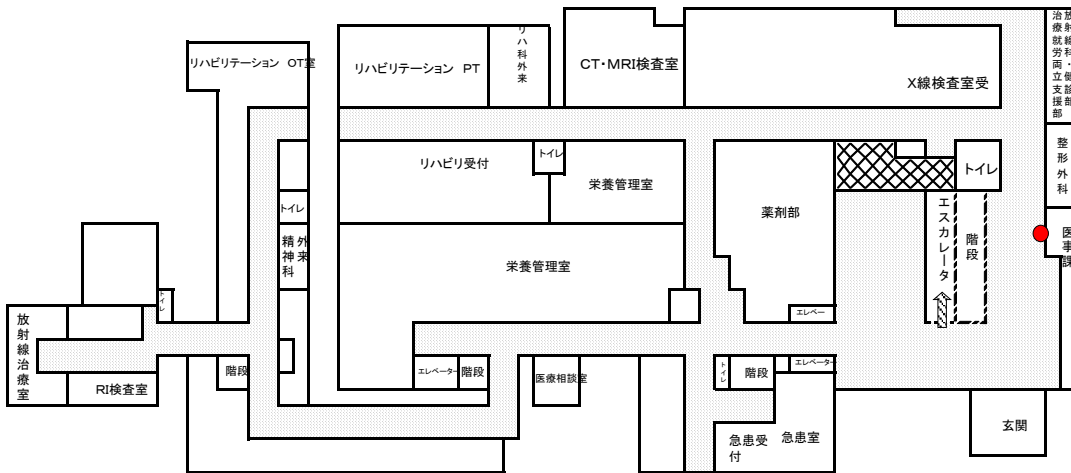
病院名 愛媛労災病院

**緩和ケアチームによる診療が受けられることについての院内掲示等**  
(写真および掲示場所の院内図等を添付することにより具体的な掲示状況を示すこと)

<< 2階 案内図 >>



<< 1階 案内図 >>



● ポスター掲示場所 その他各病棟ナースステーション前掲示板(北5階、北6階、北7階、南4階)







### 病理診断について他の医療機関からの協力によって対応できる体制

令和6年1月から令和6年12月について記載

病院名 愛媛労災病院

	病理診断について協力をうける医療機関名	所在地	紹介患者数
(例)	〇〇〇病院	〇〇市〇〇町〇—〇—〇	35人
1	「該当なし」		
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			

※自院において病理診断を行っている場合は、本別紙の記載は不要。

## 地域の医療機関への診療支援や病病連携・病診連携の体制

病院名 愛媛労災病院

令和6年1～2月に連携実績があった医療機関数、紹介件数、逆紹介件数

	連携した医療機関数	他医療機関からの受け入れ件数	他医療機関への紹介件数
(例)	25		
	179	531	430

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
(例)	〇〇診療所	2	4
1	HITO病院	3	1
2	アズマ補聴器センター新居浜店	1	
3	あんどう整形外科	2	3
4	いしづち眼科	1	
5	伊藤医院	1	2
6	いまい歯科医院	5	
7	いまなかクリニック	11	11
8	いんなみ森田歯科	3	
9	うだか歯科医院	1	
10	えもり内科クリニック	1	
11	王子苑	1	
12	おおぞら病院	1	
13	おおたに皮フ科	2	
14	おち歯科医院	1	
15	おの歯科医院	1	1
16	かりやま整形外科	3	4
17	くしべ整形外科	1	1
18	こあみ歯科医院	1	
19	こころ歯科医院	9	2
20	こたにクリニック	4	
21	こにしクリニック	39	1
22	こんどう歯科医院	7	1
23	さおの森歯科クリニック	1	1
24	さかい歯科クリニック	2	2
25	しらかた皮フ科クリニック	3	
26	しろした歯科	3	
27	すみ整形外科リハビリ科	18	10
28	せいだ循環器内科	2	

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
29	そのだ歯科クリニック	6	
30	たからだ歯科クリニック	1	
31	たなか内科クリニック	2	5
32	たに脳神経外科・内科・ものわすれクリニック	5	4
33	つばきウイメンズクリニック	2	5
34	てい歯科医院	1	
35	ながやす整形外科クリニック	4	1
36	なにわ生野病院	1	
37	新居浜医師会診療所	1	
38	はびねすケアセンター	4	8
39	はやし外科クリニック	1	3
40	はらだクリニック	2	
41	ふく整形外科	1	
42	ふじた歯科クリニック	33	1
43	マツダ顕微鏡歯科クリニック	1	
44	マミー助産院	1	
45	みやはら腎泌尿器科クリニック	40	12
46	もりもと歯科クリニック	20	1
47	もり歯科	1	
48	やかた耳鼻科クリニック	1	
49	リハビリステーション三恵荘	3	
50	愛媛県厚生連健診センター	1	
51	愛媛県総合保健協会	5	1
52	愛媛県立新居浜病院	7	22
53	愛媛県立中央病院	1	4
54	愛媛大学医学部附属病院	13	38
55	安保歯科医院	1	1
56	伊藤整形外科クリニック	5	4
57	宇野歯科医院	1	
58	王子苑	1	1
59	岡歯科クリニック	1	1
60	加地歯科医院	1	1
61	加藤医院	3	2
62	加藤歯科	1	2
63	花野歯科クリニック	1	
64	岩崎病院	1	5
65	吉井整形外科	3	3
66	吉松外科胃腸科医院	5	5

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
67	吉津歯科医院	4	
68	宮下整形外科内科	7	8
69	宮崎内科	1	
70	金澤整形外科	1	
71	九州労災病院	1	
72	隈病院	1	
73	公立学校共済組合四国中央病院	1	4
74	香川労災病院	2	
75	高橋歯科医院	1	1
76	高津診療所	15	15
77	合田歯科医院	3	1
78	今井クリニック整形外科	12	6
79	今治市医師会市民病院	1	
80	済生会西条病院	3	10
81	坂出市立病院	2	
82	坂田歯科医院	1	
83	桜木歯科クリニック	4	1
84	三木医院	2	
85	三木内科クリニック	6	8
86	山田歯科クリニック	1	
87	山内クリニック	1	1
88	四国中央病院	1	
89	歯ならび矯正歯科医院	20	2
90	滋賀医科大学医学部附属病院	1	
91	若水ケアセンター	2	1
92	秀歯科医院	1	
93	住友化学愛媛工場菊本診療所	1	
94	住友別子病院	8	47
95	十全ユリノキ病院	1	3
96	十全総合病院	10	12
97	循環器科林病院	3	2
98	松山市民病院	1	
99	松山赤十字病院	1	7
100	松村クリニック	2	3
101	松本整形外科医院	4	1
102	松木歯科クリニック	4	
103	新居浜協立病院	7	10
104	新谷ウィメンズクリニック	9	1



	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
105	新田歯科医院	1	
106	神戸市立医療センター西市民病院	1	
107	菅歯科医院	2	
108	西条市民病院	7	7
109	西条市立周桑病院	1	
110	石川歯科	1	
111	川上歯科	1	
112	泉川診療所	2	2
113	浅井歯科医院	2	
114	船員保険福岡健康管理センター	1	
115	相引医院	1	
116	村上記念病院	1	2
117	大阪みなと中央病院	2	
118	丹後中央病院	1	
119	知元医院	10	9
120	中西歯科矯正歯科	6	1
121	長井歯科医院	1	1
122	長崎みなとメディカルセンター	1	
123	直野良信歯科医院	1	
124	藤田歯科医院	2	
125	南町田かず耳鼻咽喉科・アレルギー科	1	
126	白石歯科医院	1	
127	飯尾皮膚泌尿器科	3	
128	平田クリニック	7	9
129	北村歯科医院	7	
130	矢野整形外科医院	2	
131	邑智郡公立病院組合公立邑智病院	1	
132	立花病院	3	3
133	林田歯科医院	3	
134	鈴木医院	1	
135	高橋歯科	1	
136	井石内科		1
137	井石内科医院		1
138	いのうえレディースクリニック		1
139	岡山大学病院		1
140	恵康病院		1
141	高知県立幡多けんみん病院		2
142	神戸大学医学部附属病院		1

	連携した医療機関	受け入れ件数	紹介件数
143	国際医療福祉大学三田病院		1
144	財団新居浜病院		6
145	さいとう脳神経外科		1
146	水都苑		1
147	新田診療所		2
148	田坂外科		1
149	たねがわ心の相談室		1
150	玉島病院(倉敷市)		1
151	ちかい		2
152	特別養護老人ホームプラチナプレイス		1
153	としもり内科医院		1
154	中頭医院(沖縄)		1
155	新居浜山内病院		1
156	日本大学		1
157	はなみずき		1
158	マツダ歯科		1
159	松山協和病院		1
160	マミー助産院		1
161	みよし循環器クリニック		1
162	ゆりかごファミリークリニック		2
163	吉峯耳鼻科歯科		1
164	リハビリステーション三恵荘		3
165	若水館		1
166	愛媛医療センター		1
167	佐々木歯科医院		1
168	済生会今治病院		1
169	済生会山口総合病院		1
170	三島クリニック		1
171	四国がんセンター		7
172	指定居宅介護支援事業所アソカ園		1
173	大橋胃腸肛門科外科医院		4
174	中央クリニック		1
175	中萩診療所		2
176	津山中央病院		1
177	南松山病院		1
178	福井ウイメンズクリニック		1
179	その他(担当医)		18
180			

### 地域の医療機関の医師と相互の診断及び治療に関する連携協力体制の整備状況

令和5年11月～令和6年3月の間に実施したもの

病院名

愛媛労災病院

	開催日	時間	名称	対象	開催場所	参加人数	内容
(例1)	11月20日	2時間	XXX地域連携連絡協議会	二次医療圏内医療機関	△△病院会議室	50人	地域の医療機関での外来化学療法中の急変時等の緊急時の相談窓口や受入について
(例2)	12月7日	2時間	〇〇〇地域肺がん診療連携連絡部会	肺がん診療を行っている二次医療圏内医療機関	△△病院会議室	20人	肺がんに関する地域連携クリティカルパスについて
1			「該当なし」				
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							

(別紙20)

### 地域連携クリティカルパス(がんに関するもの)

期間 令和6年1月1日～2月28日

病院名 愛媛労災病院

パス整備数	6
登録医療機関数	447
パス適応数	0

	対象疾患	地域連携クリティカルパス名	登録している医療機関数	適応の患者数	最終更新日
(例)	大腸がん	大腸がん術後連携パス(化療なし)	40	15	2023/4/5
(例)	大腸がん	大腸がん術後連携パス(化療あり)	5	1	2024/2/1
1	肺がん	肺がん術後UFT補助化学療法連携パス	447	0	2015/7/1
2	胃がん	胃がんStage I 連携パス	447	0	2015/7/1
3	肝がん	肝がん連携パス	447	0	2015/7/1
4	乳がん	乳がん術後連携パス	447	0	2015/7/1
5	大腸がん	大腸がん術後連携パス	447	0	2015/7/1
6	前立腺がん	前立腺がん連携パス	447	0	2015/7/1
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					

我が国に多いがん及び我が国に多いがん以外の各医療機関が専門とするがんに対して、手術、放射線療法又は化学療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師によるセカンドオピニオンを提示する体制

期間 令和6年4月1日時点

病院名 愛媛労災病院

■ ホームページ「セカンドオピニオン」のページの掲載内容		
1	セカンドオピニオンに対応している疾患名を掲載している	いいえ
2	セカンドオピニオンの対応件数を掲載している	いいえ
3	セカンドオピニオンを担当している医師名と所属診療科名を掲載している	いいえ
4	セカンドオピニオンを担当している医師の専門分野を掲載している	いいえ
5	上記の内容を掲載しているページのURL	

5大がん	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※令和5年1月1日から令和5年12月31日(あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
(例)肺がん	対応可	あり	呼吸器内科 呼吸器外科	2 1	肺がん 胸腔鏡手術
肺がん	対応可	なし	外科	1	腹腔鏡手術、化学療法
胃がん	対応可	なし	外科	1	腹腔鏡手術、化学療法
大腸がん	対応可	なし	外科	1	腹腔鏡手術、化学療法
肝がん	対応可	なし	外科	1	手術、化学療法
乳がん	対応可	なし	外科	1	手術、化学療法、放射線治療、センチネルリンパ節生検

5大がん以外のがん	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※令和5年1月1日から令和5年12月31日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
脳腫瘍	対応不可	なし			
脊髄腫瘍	対応可	なし	整形外科	5	手術、緩和ケア
眼、眼窩腫瘍	対応不可	なし			
頭頸部がん	対応不可	なし			
甲状腺がん	対応可	なし			
食道がん	対応可	なし	外科	1	手術、化学療法、放射線治療
縦隔腫瘍	対応不可	なし			
中皮腫	対応不可	なし			
膵がん	対応可	なし	外科	1	手術、化学療法、緩和ケア
胆道がん	対応可	なし	外科	1	手術、化学療法、緩和ケア
十二指腸・小腸がん	対応可	なし	外科	1	手術
腎がん	対応可	なし	泌尿器科	1	腹腔鏡手術、化学療法
膀胱がん	対応可	なし	泌尿器科	1	手術、化学療法
尿路がん	対応可	なし	泌尿器科	1	手術、化学療法

5大がん以外のがん	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※令和5年1月1日から令和5年12月31日 (あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
副腎腫瘍	対応可	なし	泌尿器科	1	
前立腺がん	対応可	なし	泌尿器科	1	手術、緩和ケア
精巣がん	対応可	なし	泌尿器科	1	
その他の男性生殖器がん	対応可	なし	泌尿器科	1	
子宮がん	対応可	なし	産婦人科	1	手術
卵巣がん	対応可	なし	産婦人科	1	手術、化学療法、放射線治療
その他の女性生殖器がん	対応可	なし	産婦人科	1	
皮膚腫瘍	対応可	なし	形成外科	2	
悪性骨軟部腫瘍	対応可	なし	整形外科	5	手術、化学療法、緩和ケア
血液腫瘍	対応不可	なし			手術、化学療法、緩和ケア
小児固形腫瘍	対応不可	なし			手術
小児血液腫瘍	対応不可	なし			腹腔鏡手術、化学療法
原発不明がん	対応可	なし	外科	1	手術、化学療法
性腺外胚細胞腫瘍	対応可	なし	産婦人科	1	手術、化学療法

5大がん以外のがん	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※令和5年1月1日から令和5年12月31日(あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
GIST (Gastrointestinal Stromal Tumor:消化管間質腫瘍)	対応可	なし	外科	1	手術、化学療法
疾患名:					
疾患名:					
疾患名:					

各治療	セカンドオピニオンの対応状況 (対応可・対応不可)	セカンドオピニオンの実績 ※令和5年1月1日から令和5年12月31日(あり・なし)	セカンドオピニオンを担当する医師 ※診療科と診療科の間を1行あけてください		
			所属診療科	診療科別の人数	専門分野
化学療法	対応可	なし	外科 産婦人科 泌尿器科	1 1 1	呼吸器、消化器、乳腺 女性生殖器 尿路、男性生殖器
放射線療法	対応可	なし		1	全身対応可
緩和ケア	対応可	なし	外科 整形外科 産婦人科	1 5 1	緩和ケア全般



## セカンドオピニオンに関する情報提供

期間 令和6年4月1日現在  
 病院名 愛媛労災病院

実施方法	セカンドイオピニオン外来で対応	(一般外来で対応、セカンドオピニオン外来で対応、その他)
その他の場合		
セカンドオピニンの問い合わせ先と申し込み方法		
窓口名	地域医療連携室	
電話番号	0897-33-6199	
FAX番号	0897-33-6198	
e-mail		
対応時間	平日8:30~16:00	
必要な紹介状・資料が揃わない場合の対応	受付不可	(受付不可、初診として診療科外来へ紹介、その他)
その他の場合		
セカンドオピニオンを患者本人以外への対応	本人の同意があれば可	(可、本人の同意があれば可、不可)
通常料金	30分まで5,000円(税抜)、30分超60分まで10,000(税抜)	
超過料金		
その他の料金 (詳細と金額)		
相談時間の制限	あり	(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)	60	分

## がん患者及びその家族が心の悩みや体験等を語り合うための場の設定状況

期間 令和5年11月1日～令和6年3月31日

病院名 愛媛労災病院

件数

	名称	活動日時	活動場所	参加者の対象疾患名	活動内容	相談支援窓口職員の関与の有無
(例)	乳がん勉強会	年1回 12月第2月曜	相談支援センター	乳がん患者・乳がん経験者	乳がん専門医による講演・意見交換	あり
(例)	患者サロン	毎週木曜日 9-17時	病院1階受付横の部屋	がん全般	自由に立ち寄り語り合える場を提供している	なし
1		「該当なし」				
2						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

## 拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケア研修会への協力及び参加状況

令和5年6月～6年3月の間に実施されたもの

病院名 愛媛労災病院

	参加済/ 協力済	開催日	時間	実施病院、名称	開催場所	種類	参加/協力 人数(人)	内容
(例)	参加済	6月5日	2日間	〇〇病院実施 がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会	〇〇病院	講義＋ワークショップ	3	開催指針で定められたプログラムに準拠したもの
(例)	協力済	8月3日	2日間	大阪〇〇緩和ケア研修会	〇〇病院	講義＋ワークショップ	1	開催指針で定められたプログラムに準拠したもの 〇〇の講義に自院の医師が講師として協力
1				「該当なし」				
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								

※参加/協力人数は、貴院より参加された人数を記載すること。

※国拠点病院が実施するがん医療に携わる医師を対象とした緩和ケアに関する研修とは、厚生労働省健康局長通知「がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会の開催指針」(平成20年4月1日付け健発第0401016号)で示している緩和ケア標準プログラムのことである。

拠点病院が実施するがん医療に携わる医師等を対象とした  
がんの早期診断に関する研修への協力及び参加状況

令和5年6月～6年3月の間に実施されたもの

病院名 愛媛労災病院

	参加済/ 協力済	開催日	時間	実施病院、名称	対象	開催場所	種類	参加/協力 人数(人)	内容
(例)	協力済	6月12日	2時間	××病院 胃X線読影 研修会	二次医療圏内医師	XX病院 会議室	講義	1	放射線科医師を、早期胃がん胃X線画像読影の ポイントに関する研修へ講師として派遣
(例)	参加済	8月11日	1時間	〇〇セミナー	二次医療圏内医 師・看護師	〇〇病 院	講義	4	〇〇についてのセミナーを受講
1				「該当なし」					
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

※参加/協力人数は、貴院より参加された人数を記載すること。

**拠点病院が実施する診療連携を行っている地域の医療機関等の  
医療従事者も参加する合同のカンファレンスへの参加状況**

令和5年6月～6年3月の間に実施されたもの

病院名 愛媛労災病院

	開催日	時間	名称	対象	開催場所	参加人数 (人)	内容
(例)	8月20日	2時間	〇〇病院実施 ××地域肺がん合同カンファレンス	二次医療圏内医療従事者	△△病院会議室	2	病院と在宅療養支援診療所の連携により円滑な在宅医療への移行が可能であった症例を通じて学ぶ「退院前カンファレンス」の開催のポイント
1	8月	1時間	愛媛県がん診療連携協議会幹事会および専門部会	がん診療連携拠点病院医療従事者	四国がんセンター	1	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

※参加人数は、貴院より参加された人数を記載すること。

## 相談支援窓口の相談対応状況

期間 令和6年4月1日現在  
 病院名 愛媛労災病院

相談支援窓口の名称	医療相談窓口	
相談支援窓口の電話番号		
問い合わせ先電話番号	0897-33-6191	
電話相談の電話番号		上記問い合わせ先と異なる場合のみにご記入ください
※相談支援窓口が独立していない場合、患者さんが最初に問い合わせる窓口	医事課(地域医療連携室)	例:医療連携室
相談支援窓口の対応曜日と対応時間		
対応曜日と対応時間	月曜日～金曜日(平日)8:15～17:00	
対面相談の対応曜日と対応時間		上記の対応時間内で対面相談の時間設定がある場合のみ記入してください
電話相談の対応曜日と対応時間		上記の対応時間内で電話相談の時間設定がある場合のみ記入してください
対面相談の実施	実施	(実施、未実施)
予約の要否	必要	(必要、不要)
時間制限の有無	あり	(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)	60	
電話相談の実施	実施	(実施、未実施)
予約の要否	不要	(必要、不要)
時間制限の有無	あり	(あり、なし)
制限がある場合の時間(分)	60	
FAX相談の実施	未実施	(実施、未実施)
FAX相談のためのFAX番号		
e-mail相談の実施	未実施	(実施、未実施)
email相談のためのe-mail		
相談員の職種	看護師、MSW、事務員	
ピアサポート提供の有無	なし	(あり、なし)
ありの場合は具体的な活動内容を記載してください		※ピアサポートとは、がんを経験された方やご家族による支援活動を指しています
相談者が利用できる資料	医学教科書、パンフレット	例:図書、雑誌、ビデオ・DVD、パンフレット、インターネット
うち参考図書の冊数(冊)	10	※雑誌と冊子を含まず
自施設を受診していない患者さんやご家族の利用	不可	(可、不可)
地域の患者会の情報提供の有無	あり	(あり、なし)
提供可能な地域の患者会の数		

### 相談支援に関し十分な経験を有するがん患者団体との 連携協力体制構築の取り組みの状況

病院名 愛媛労災病院

がん患者団体名	活動内容	相談支援窓口 職員の関与の 有無
(例)XX病院血液がん患者の会	3ヶ月に1回、患者会と共同で、勉強会を開催して、その中で相談会も実施している。	あり
1		
2		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

## がんの診療に関連した患者・医療者向け各種問い合わせ窓口

期間 令和6年4月1日現在  
病院名 愛媛労災病院

### 1.セカンドオピニンの問い合わせ窓口

※1)または2)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1) 自施設のセカンドオピニンについて、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	地域医療連携室
	電話	0897-33-6199
	FAX	0897-33-6198
	電子メール	
	受付時間	平日8:30～17:00
	ホームページのURL	<a href="https://www.ehimeh.johas.go.jp/cooperation/">https://www.ehimeh.johas.go.jp/cooperation/</a>
2) 自施設のセカンドオピニンについて、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	地域医療連携室
	電話	0897-33-6199
	FAX	0897-33-6198
	電子メール	
	受付時間	平日8:30～16:00
	ホームページのURL	<a href="https://www.ehimeh.johas.go.jp/cooperation/">https://www.ehimeh.johas.go.jp/cooperation/</a>

### 2.緩和ケアの問い合わせ窓口

※2)または3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1) 緩和ケア外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
2) 自施設の緩和ケアについて、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	医療相談窓口
	電話	0897-33-6191
	FAX	0897-33-6195
	電子メール	
	受付時間	平日8:30～17:00
	ホームページのURL	
3) 自施設の緩和ケアについて、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		はい
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	医療相談窓口
	電話	0897-33-6191
	FAX	0897-33-6195
	電子メール	
	受付時間	平日8:30～17:00
	ホームページのURL	



3.緩和ケア病棟の問い合わせ窓口

※2)または3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1) 緩和ケア病棟で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
2) 自施設の緩和ケア病棟について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
3) 自施設の緩和ケア病棟について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

4.臨床試験・治験の問い合わせ窓口

※1)または2)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください。

1) 自施設で実施している臨床試験・治験について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口が一本化している		はい
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	医療相談窓口
	電話	0897-33-6191
	FAX	0897-33-6195
	電子メール	
	受付時間	平日8:30~17:00
	ホームページのURL	
2) 自施設で実施している臨床試験・治験について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口が一本化している		はい
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	医療相談窓口
	電話	0897-33-6191
	FAX	0897-33-6195
	電子メール	
	受付時間	平日8:30~17:00
	ホームページのURL	

■ がんの診療に関する専門外来の問い合わせ窓口について

1. ストーマ外来についての問い合わせ窓口

※3) または4) がはいの場合は窓口の詳細を記入してください。

1) ストーマ外来がある		いいえ
2) ストーマ外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
3) 自施設のストーマ外来について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
4) 自施設のストーマ外来について、医療者向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

2. リンパ浮腫外来の問い合わせ窓口

※3) または4) がはいの場合は窓口の詳細を記入してください。

1) リンパ浮腫外来がある		いいえ
2) リンパ浮腫外来で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている		いいえ
3) 自施設のリンパ浮腫外来について、地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	
3) 自施設のリンパ浮腫外来について、地域の医療者向けの問い合わせ窓口がある		いいえ
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名	
	電話	
	FAX	
	電子メール	
	受付時間	
	ホームページのURL	

3.その他の外来でのケアについての問い合わせ窓口

1)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください
(1)自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2)自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
(3)自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	

2)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください
(1)自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2)自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	
(3)自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口		窓口名	
		電話	
		FAX	
		電子メール	
		受付時間	
		ホームページのURL	

3)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください
(1)自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2)自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名		
	電話		
	FAX		
	電子メール		
	受付時間		
	ホームページのURL		
(3)自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名		
	電話		
	FAX		
	電子メール		
	受付時間		
	ホームページのURL		

4)		の問い合わせ窓口	※セルの中にその他の外来でのケアの名称を記入してください ※(2)または(3)がはいの場合は、窓口の詳細を記入してください
(1)自施設の		で自施設以外で原疾患の診療を受けている、または、診療を受けた患者さんを受け入れている	
(2)自施設の		について、患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口がある	
地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口	窓口名		
	電話		
	FAX		
	電子メール		
	受付時間		
	ホームページのURL		
(3)自施設の		について、医療者向けの問い合わせ窓口がある	
地域の医療者向けの問い合わせ窓口	窓口名		
	電話		
	FAX		
	電子メール		
	受付時間		
	ホームページのURL		

## 院内がん登録の登録実施項目

がん診療連携拠点病院 院内がん登録 標準登録様式 2016年版修正版

期間 令和6年4月1日現在  
病院名 愛媛労災病院

自施設で全がんに対して登録している項目に「○」、全がんでなく一部のがん種に限っての登録項目に「△」、非登録項目に「×」を右の「登録している項目」欄に全項目について記入すること。

	項目番号	項目名	登録している項目
基本情報	[900]	病院等の名称	○
	[100]	診療録番号	○
	[110]	重複番号	○
	[120]	カナ氏名	○
	[130]	氏名	○
	[140]	性別	○
	[150]	生年月日	○
	[199]	基本情報《テキスト》	○
腫瘍情報	[200]	診断時都道府県コード	○
	[210]	診断時住所	○
	[220]	診断時郵便番号	○
	[300]	原発部位《局在コード》	○
	[309]	原発部位《テキスト》	○
	[310]	側性	○
	[320]	病理診断《形態コード》	○
	[329]	病理診断《テキスト》	○
	[330]	診断根拠	○
	[350]	当該腫瘍初診日	○
	[360]	他施設診断日	○
	[370]	自施設診断日	○
	[380]	診断日	○
	[400]	診断施設	○
	[410]	治療施設	○
	[420]	症例区分	○
	[450]	来院経路	○
	[460]	発見経緯	○
	[470]	病名の告知の有無	○
	[500]	ステージ(治療前・UICC)	○
	[510]	TNM分類(UICC)T分類	○
	[520]	TNM分類(UICC)N分類	○
	[530]	TNM分類(UICC)M分類	○
	[540]	TNM分類(UICC)付加因子	○
	[550]	肝癌の病期(治療前・取扱い規約)	○
	[580]	進展度・治療前	○
	[600]	ステージ(術後病理学的・UICC)	○
	[610]	pTNM分類(UICC)pT分類	○
	[620]	pTNM分類(UICC)pN分類	○
	[630]	pTNM分類(UICC)pM分類	○
[640]	TNM分類(UICC)p付加因子	○	
[680]	進展度・術後病理学的	○	
[699]	腫瘍情報《テキスト》	○	
初回治療情報	[700]	外科的治療の有無	○
	[701]	外科的治療の施行日(自施設)	○
	[705]	外科的治療(他施設)《自施設初回治療開始前》	○
	[706]	外科的治療(他施設)《自施設初回治療開始後》	○
	[710]	鏡視下治療の有無	○
	[711]	鏡視下治療の施行日(自施設)	○
	[715]	鏡視下治療(他施設)《自施設初回治療開始前》	○
	[716]	鏡視下治療(他施設)《自施設初回治療開始後》	○
	[720]	内視鏡的治療の有無	○
	[721]	内視鏡的治療の施行日(自施設)	○
	[725]	内視鏡的治療(他施設)《自施設初回治療開始前》	○
	[726]	内視鏡的治療(他施設)《自施設初回治療開始後》	○
	[730]	外科的・鏡視下・内視鏡的治療の範囲	○
	[740]	放射線療法の有無	○
	[741]	放射線療法の施行日(自施設)	○
	[745]	放射線療法(他施設)《自施設初回治療開始前》	○
	[746]	放射線療法(他施設)《自施設初回治療開始後》	○
	[750]	化学療法の有無	○
	[751]	化学療法の施行日(自施設)	○
	[755]	化学療法(他施設)《自施設初回治療開始前》	○
	[756]	化学療法(他施設)《自施設初回治療開始後》	○
	[760]	内分泌療法の有無	○
	[761]	内分泌療法の施行日(自施設)	○

	[765]	内分泌療法(他施設)《自施設初回治療開始前》	○
	[766]	内分泌療法(他施設)《自施設初回治療開始後》	○
	[770]	その他の治療の有無	○
	[775]	その他の治療(他施設)《自施設初回治療開始前》	○
	[776]	その他の治療(他施設)《自施設初回治療開始後》	○
	[780]	経過観察の選択の有無(自施設)	○
	[790]	症状緩和的治療の有無(自施設)	○
	[799]	初回治療情報《テキスト》	○
生存 状況 情報	[800]	生存最終確認日	○
	[810]	死亡日	○
	[820]	生存状況	○
	[830]	生存確認調査方法	○
	[840]	全国がん登録情報取得日	○
	[850]	死因情報(全国がん登録)	○
	[860]	追跡期間	○
	[870]	最新生存確認調査対象日	○
	[880]	最新生存確認調査実施日	○
	[899]	生存状況情報《テキスト》	○
管理 情報	[910]	紹介元施設	○
	[911]	紹介先施設	○
	[919]	紹介状況《テキスト》	○
	[920]	全国がん登録届出状況	○
	[921]	全国がん登録最新届出日	○
	[922]	全国がん登録届出責任者	○
	[930]	登録日	○
	[931]	登録者	○
	[940]	最新修正日	○
	[941]	最新修正者	○
	[950]	最新住所	○
	[951]	最新郵便番号	○
	[952]	最新住所更新日	○
	[970]	診療科情報《テキスト》	○
	[971]	主治医情報《テキスト》	○
	[989]	管理情報《テキスト》	○
	[999]	全般情報《テキスト》	○
	[989]	管理情報《テキスト》	○
	[999]	全般情報《テキスト》	○

※ 項目の定義については、国立がん研究センターが提示する  
「がん診療連携拠点病院等 院内がん登録 標準登録様式 2016年度版 修正版」を参照すること



## 地域住民へのメッセージ

病院名 愛媛労災病院

### 地域住民へのメッセージ(各項目200字以内)

#### 愛媛県がん診療連携推進病院として

当院は、「がん」に対する質の高い治療を愛媛県民の皆様に提供いたします。治療には手術だけでなく、抗がん剤の使用や、安楽な生活を送る為の配慮(緩和医療)などがあります。このような治療は当院独自で行う場合もあれば、他のがん診療連携拠点病院と協力して提供する場合があります。治療以外にも、「がん」患者様に対し様々な治療法や今後の予想経過等の相談に応じます。また、ご用命があれば、自治会や職域での勉強会に講師を派遣することも可能です。

#### がん診療に関する当院の特長

外科では乳がんを中心に検診、治療を行っています。乳がん検診のマンモグラフィの撮影は常時検診マンモグラフィ撮影認定診療放射線技師2名が担当しています。泌尿器科では前立腺がん・膀胱がん等の治療に積極的に取り組んでいます。

#### 相談支援窓口について

医療相談窓口は医事課に設置し他の病院・診療科への情報提供、治療費の支払い・援助、入院生活や退院後の生活の配慮などのご相談に応じています。また、必要に応じてソーシャルワーカーもお手伝いいたします。なお、各診療科ではセカンドオピニオン外来を設置し、治療法の選択のお手伝いを行っています。当院では医療メディエーターの養成を積極的に行っており、様々な場面で患者様のお気持ちに寄り添い、支えることが可能です。

#### 緩和ケアの提供体制について

当院の緩和ケアチームでは、病棟・外来の医師や看護師から緩和ケア対象者のコンサルテーション(相談)を受け、患者様と御家族の方々の思いに応えられるよう、症状を和らげるための話し合いをしています。具体的な活動の内容は、症状の緩和を目的とした症状マネジメント、精神的支援、在宅療養への退院支援、意思決定支援、家族ケアなど多岐にわたります。入院中だけでなく、外来・入院・在宅を通じて、患者様の退院後の生活を視野に入れた緩和ケア支援が提供できるよう、チーム連携に努めています。緩和ケア病棟はありませんが、行き場のないがん患者さんに対しても、積極的に当院で受け入れができる様、緩和ケア委員会委員長、泌尿器科医師を中心に緩和ケアチームメンバーで対応させていただいています。